ONKYO®

INTEC
COMPONENT WORLD

ミニディスクレコーダー

MD-105FX

取扱説明書

はじめに 2

接続をする 14

MDを聞く 17

録音する 24

タイマー再生と録音 34

グループ機能 35

編集/消去する 42

ネームをつける 47

困ったときは 56

その他 58

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書、オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内とともに大切に保管してください。

MiniDisc

MDLP

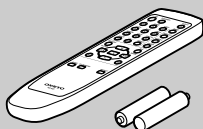
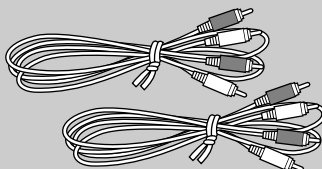
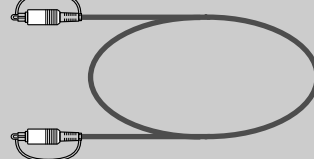
主な特長/付属品

■さまざまな組み合わせが可能な単品設計
■高音質、長時間録音可能なHi-MD対応
■長時間録音（2倍/4倍）可能なMDLP対応
■高速演算ATRAC TYPE-S DSP搭載
■デジタル録音レベル自動設定機能DLA Link（リンク）搭載
■デジタル信号からピュアなアナログ信号を生成するVLSC（Vector（ベクター） Linear（リニア） Shaping（シェーピング） Circuitry（サーキットリー））回路搭載
■光デジタル端子2系統装備
■アルミフロントパネル

本機は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

付属品

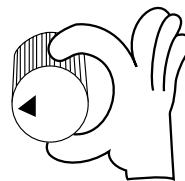
ご使用の前に次の付属品がそろっていることをお確かめください。
（ ）内の数字は数量を表しています。

●リモコン(RC-601)....... (1)
単3乾電池........................ (2)

●オーディオ用ピンコード(60cm)..... (2)

●オーディオ用光デジタルケーブル(0.5m)............ (1)

●RIケーブル(60cm).... (1)

●取扱説明書（本書）......... (1)
●保証書.............................. (1)
●オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内........ (1)

カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後にあるアルファベットは、製品の色を表す記号です。
色は異なっても操作方法は同じです。

音のエチケット

楽しい映画や音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣り近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

目次

はじめに

主な特長/付属品 2
目次 3
オーディオ機器の正しい使いかた 4
本体、リモコンボタンの名前と働き 8
リモコンを準備する 13

接続をする

システム機能について 14
機器を接続する前に 15
アンプやAVセンターと接続する 15
アンプやAVセンター、
再生機器とデジタル接続する 15
他機の電源プラグを本機につなぐ 15
電源コードを接続する 16
- INTEC205シリーズとの
  シンクロ録音について 16
- オンキヨー製FRシリーズ機器との
  システム動作について 16

MDを聞く

1曲目から聞く（ノーマル再生） 17
- 再生を止めるには 18
- 再生を一時停止するには 18
- ディスクを取り出すには 18

聞きたい曲から再生するには 19
- ダイレクト再生 19
- スキップ再生 19
- サーチ 20

順不同で聞く（ランダム再生） 20
予約再生をする（メモリー再生） 21
くり返し再生する（全曲リピート/1曲リピート） 22
表示内容を切り換える 23
- ディスクの情報を切り換える 23
- 曲の情報を切り換える 23

録音する

- Hi-MDモードとMDモードについて 24
- 録音モードについて 24

CDダビング（システム操作） 25
トラック指定CDダビング（システム操作） 27
グループ録音 27
アナログ入力を録音する 28
デジタル入力を録音する 30
CDシンクロ録音（システム操作） 31
テープデッキから本機へのシンクロ録音
（システム操作） 32
シグナルシンクロ録音 32
録音時の機能について 33
- レベルシンク機能 33
- 録音オートストップ機能 33
- 録音結果を確かめるには 33
- 停電時のご注意 33
- 録音した内容を誤って消さないために 33

ディスクを初期化する（Disc Format［ディスク フォーマット］機能） 52

タイマー再生と録音

タイマー再生やタイマー録音をするには 34

グループ機能

グループを作成/解除する 35
- グループセット 35
- グループイン 35
- グループアウト 36
- 選択グループの解除 36

グループを再生する 37
- グループと曲番について 37
- グループの中の曲を選ぶ 37
- グループ再生 38
- 1グループ再生 38
- グループスキップ 38

グループを編集/消去する 39
- 編集/消去機能の紹介 39
- 編集の組み合わせ 39
- 指定したグループ内の曲を消す（G. Erase［グループ イレーズ］） 39
- グループを移動する（G. Move［グループ ムーブ］） 40
- グループをつなぐ（G. Combine［グループ コンバイン］） 41

編集/消去をする

- 編集/消去機能の紹介 42
- 編集/消去機能の組み合わせ 42
- 全曲消去する（All Erase［オール イレーズ］） 42
- 1曲選んで消す（Erase［イレーズ］） 43
- 曲を移動する（Move［ムーブ］） 44
- 曲を分ける（Divide［ディバイド］） 45
- 曲をつなぐ（Combine［コンバイン］） 46

ネームをつける

曲名やディスク名をつける（Name In［ネーム イン］機能） 47
同じ名前をつける（Name Copy［ネーム コピー］機能） 50

その他

MDについて 53
- Hi-MDについて 54
- MDのシステム上の制約について 55
- メッセージ一覧 55

困ったときは 56
主な仕様 58
修理について 59

MD-105FX(02-03)(SN29343986A) 3 05.4.7, 10:04 AM
ブラック

オーディオ機器の正しい使いかた

オーディオ機器を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について
この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な指示内容（左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠警告

■ 故障したままの使用はしない

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。
煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 絶対に裏ぶた、カバーははずさない、改造しない

分解禁止

● 本機の裏ぶた、カバーは絶対にはずさないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。
● 本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 100V以外の電圧で使用しない

● 本機を使用できるのは日本国内のみです。
● 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧や船舶などの直流（DC）電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 放熱を妨げない

● 本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
本機には内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。
次の点に気をつけてご使用ください。

• 本機を逆さまや横倒しにして使用しないでください。
• 本機を、専用ラック以外の押し入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込んで使用しないでください。
• テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、ふとんの上に置いて使用しないでください。
• 本機を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は、少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。

MD-105FX(04-07)(SN29343986A) 4 05.4.7, 10:04 AM
ブラック

■ 水のかかるところに置かない

● 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

● 本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

■ 水の入った容器を置かない

● 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ 中に物を入れない

● 本機の通風孔、ミニディスクの挿入口などから金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 中に水や異物が入ったら

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

■ 雷が鳴りだしたら機器に触れない

● 雷が鳴りだしたら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

■ 電源コードを傷つけたり、加工しない

● 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがありますのでご注意ください。
● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

■電源コンセントにはオーディオ機器以外接続しない

● 本機の電源コンセントはオーディオ機器専用です。表示された定格以内でご使用ください。表示された定格以上の機器やヘヤードライヤー・電気こたつなどの電熱器具、オーブン・レンジなどの調理器具は絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 落としたり、破損した状態で使用しない

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、誤って本機を落とした場合や、キャビネットを破損した場合には、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

■ 乾電池を充電しない

● 乾電池は充電しないでください。電池の破裂や液もれにより、火災、けがの原因となります。

⚠注意

■ 設置上の注意

● 強度の足りない台やぐらついたり、傾いたりした所、厚手のじゅうたんの上など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
● 本機の上に他のオーディオ機器を乗せたまま移動しないでください。倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。
● 本機の上に10kg以上の重い物や外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。

■ 次のような場所に置かない

● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
● 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 接続について

● 本機を他のオーディオ機器やテレビなどの機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源スイッチを切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

■ 使用上の注意

●本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。
● レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。
● お子さまがミニディスク挿入口に手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。
● ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。

■ 電源コード、電源プラグの注意

● 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
● 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
● 電源コードを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
● 移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■ 電池について

● 電池をリモコンに挿入する場合、極性表示（プラス＋とマイナス－の向き）に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

● 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより火災、けがや周囲の汚損の原因となることがあります。
● 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

■ 点検・工事について

電源プラグをコンセントから抜いてください

● お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

● 使用環境にもよりますが、2年に1回程度の機器内部の掃除をお勧めします。もよりの販売店にご相談ください。
本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除、点検費用等についても販売店にご相談ください。

● 電源プラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。

● シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装がはげたり変形することがあります。

● 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと、乾いた布で拭いてください。
化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

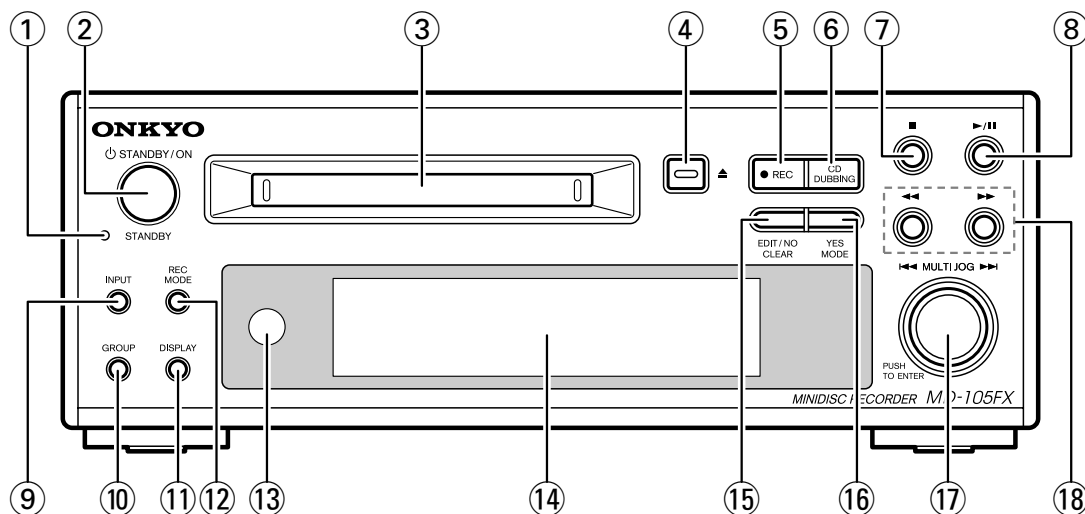
結露について

本機を冷えた所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。そのままでは正常に働かないばかりではなく、ディスクや部品も痛めてしまいます。結露しているおそれがある場合は、本機の電源を入れて約1時間放置してからご使用ください。また、本機をご使用にならないときは、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。

MD-105FX(04-07)(SN29343986A) 7 05.4.7, 10:04 AM
ブラック

本体、リモコンボタンの名前と働き

前面パネル

〔　　〕内のページに主な説明があります。

① **STANDBYインジケーター〔16〕**
本機がスタンバイ状態のときに点灯します。

② **STANDBY/ONボタン〔17〕**
電源のスタンバイ/オンを切り換えます。

③ **MD挿入口〔17〕**
MDを挿入します。

④ **▲ボタン〔18〕**
MDを取り出します。

⑤ **●RECボタン〔28、30〕**
アナログ録音/デジタル録音時、録音待機状態にします。

⑥ **CD DUBBINGボタン〔26、27〕**
CDダビングを始めます。（INTEC205シリーズのアンプやAVセンター、CDプレーヤーと接続している場合）

⑦ **■ボタン〔18〕**
再生・録音を停止します。

⑧ **►/❚❚ボタン〔17、18〕**
再生を始めます。録音待機状態から録音を始めます。
再生中に押すと一時停止状態になり、もう一度押すと再生を再開します。

⑨ **INPUTボタン〔28、30〕**
入力信号を切り換えます。

⑩ **GROUPボタン〔37〕**
グループ再生をするときに使います。

⑪ **DISPLAYボタン〔23、48〕**
表示部の情報を切り換えます。
ネーム入力時、文字の種類を選べます。

⑫ **REC MODEボタン〔25〕**
録音設定時に録音モードの中から好みのモードを選択できます。

⑬ **リモコン受光部〔13〕**
リモコンからの信号を受信します。

⑭ **表示部**
次ページをご覧ください。

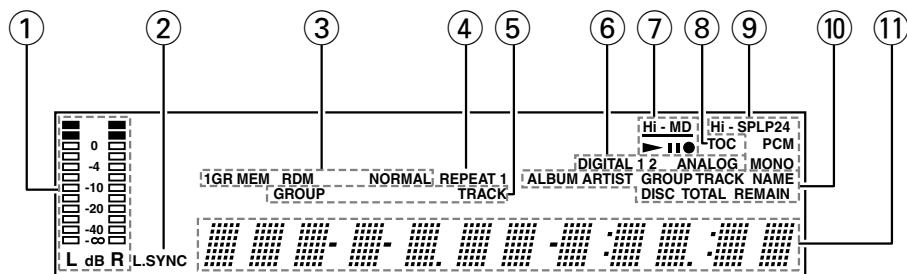
⑮ **EDIT/NO/CLEARボタン〔26、35、48〕**
録音·再生などの各設定や各編集操作の内容を選びます。
設定中は表示された内容を取り消すときに押します。

⑯ **YES/MODEボタン〔20、21〕**
録音・再生などの各設定や各編集操作で表示どおりに決定するときに押します。
また、メモリー再生やランダム再生をするときに押します。

⑰ **❚◀◀MULTI JOG▶▶❚ダイヤル〔19、48〕**
再生中の曲番を前後に飛び越します。
停止状態で回すと曲を選べます。押すと選ばれている曲を再生します。
編集の種類を選んだり、ネーム入力時に文字の種類を選びます。押すと各設定を確定します。

⑱ **◀◀/▶▶ボタン〔20、48〕**
再生中の曲を前後に早戻し/早送りします。
ネーム入力時、カーソル移動に使います。

表示部

〔　〕内のページに主な説明があります。

① レベル表示〔28〕
音声レベルを表示します。

② L.SYNC（レベル　シンク）表示〔33〕
レベルシンク機能が働いているときに点灯します。

③ 再生モード表示〔20、21、38〕

1GR（グループ）：1グループ再生時に点灯します。
MEM（メモリー）：メモリー再生が設定されてるときに点灯します。
RDM（ランダム）：ランダム再生時に点灯します。
NORMAL（ノーマル）：通常再生時に点灯します。

④ REPEAT（リピート） 1表示〔22〕
全曲リピート、1曲リピート再生時に点灯します。

REPEAT（リピート）：全曲リピート再生時に点灯します。
REPEAT1（リピート）：1曲リピート再生時に点灯します。

⑤ GROUP（グループ）/TRACK（トラック）表示

GROUP（グループ）：グループ数が表示されているときに点灯します。
TRACK（トラック）：トラック数が表示されているときに点灯します。

⑥ 入力信号表示〔28、30〕
INPUT（インプット）ボタンで選んでいる入力が点灯します。

⑦ 動作モード表示〔25〕
本機の動作モードを表示します。
MDモードのときは「MD」が点灯します。
Hi-MDモードのときは「Hi-MD」が点灯します。

⑧ TOC（トック）表示〔53〕
録音や編集など、MDに情報を書込むときに点灯や点滅します。

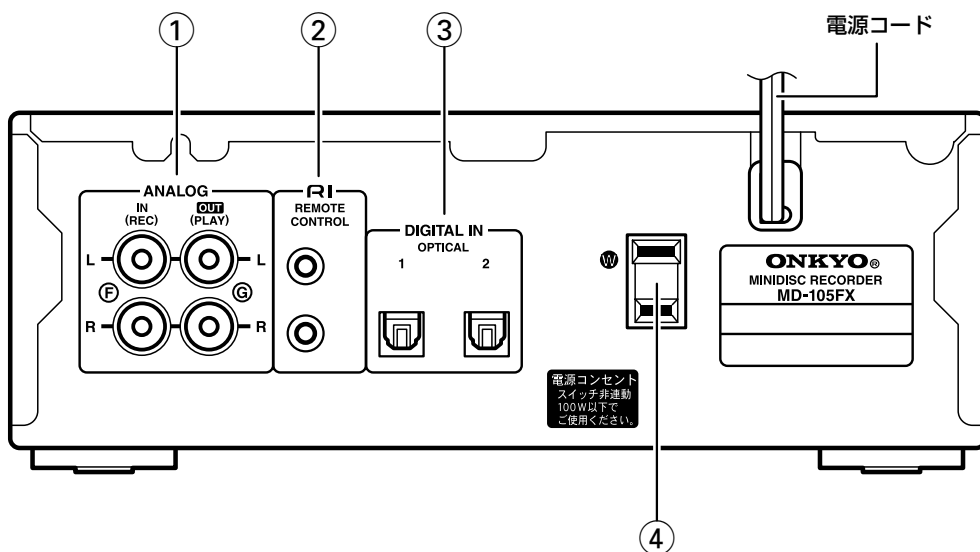
⑨ 録音モード表示〔24、25〕
再生や録音するモードが点灯します。
録音時は、REC（レック） MODE（モード）ボタンで選ばれているモードが点灯します。

⑩ MD情報表示
⑪の多目的表示部に表示されている項目が点灯します。

⑪ 多目的表示部
再生時間や名前などを表示します。

MD-105FX(08-13)(SN29343986A)　9　05.4.7, 10:05 AM
ブラック

本体、リモコンボタンの名前と働き

後面パネル

① ANALOG IN/OUT端子

アナログ音声の入出力端子です。
付属のオーディオ用ピンコードを使って、アンプやAVセンターなどの録音機器と接続します。

② RI REMOTE CONTROL端子

RI端子付きオンキヨー製品と接続し、連動させる端子です。
RIケーブルの接続だけでは連動しません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。

③ DIGITAL IN OPTICAL1/2端子

光デジタル入力端子です。デジタル出力端子付きのCDプレーヤー、DVDプレーヤー、BSチューナーなどと接続します。接続には付属のオーディオ用光デジタルケーブルを使用します。

ご注意

本機で録音できるのは、リニアPCM信号でサンプリング周波数が32kHz、44.1kHz、48kHzです。接続する機器のデジタル出力の設定を確認して、必要ならば設定を変更してください。CDプレーヤーやCDレコーダーの場合は、設定する必要はありません。

④ 電源コンセント

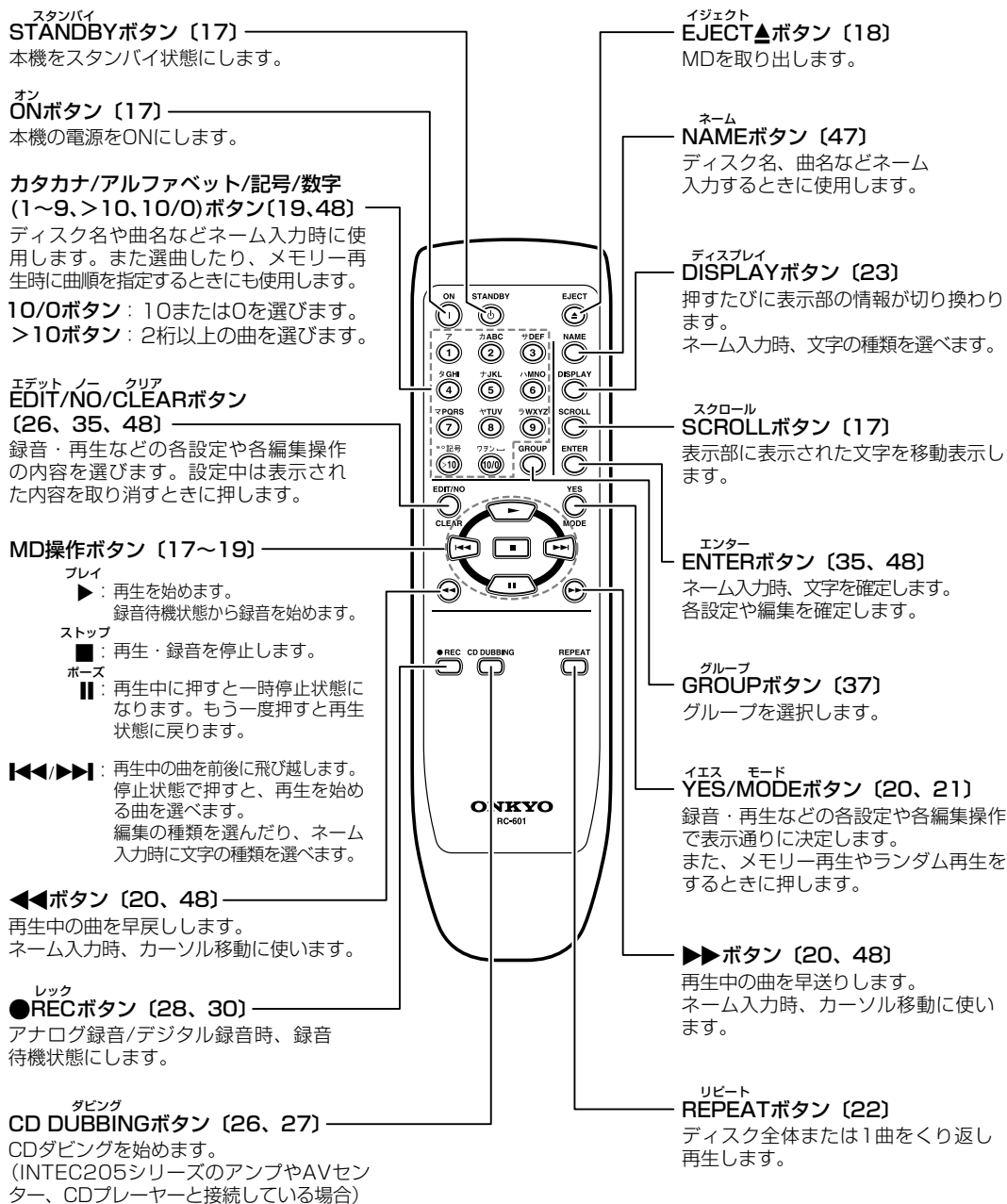
本機に接続する機器の電源プラグを接続します。

ご注意

本機の電源コンセントには、合計100Wを超える機器は接続しないでください。
INTEC205シリーズで接続するときは、アンプやAVセンターの取扱説明書を参照ください。

接続については、１５、16ページをご覧ください。

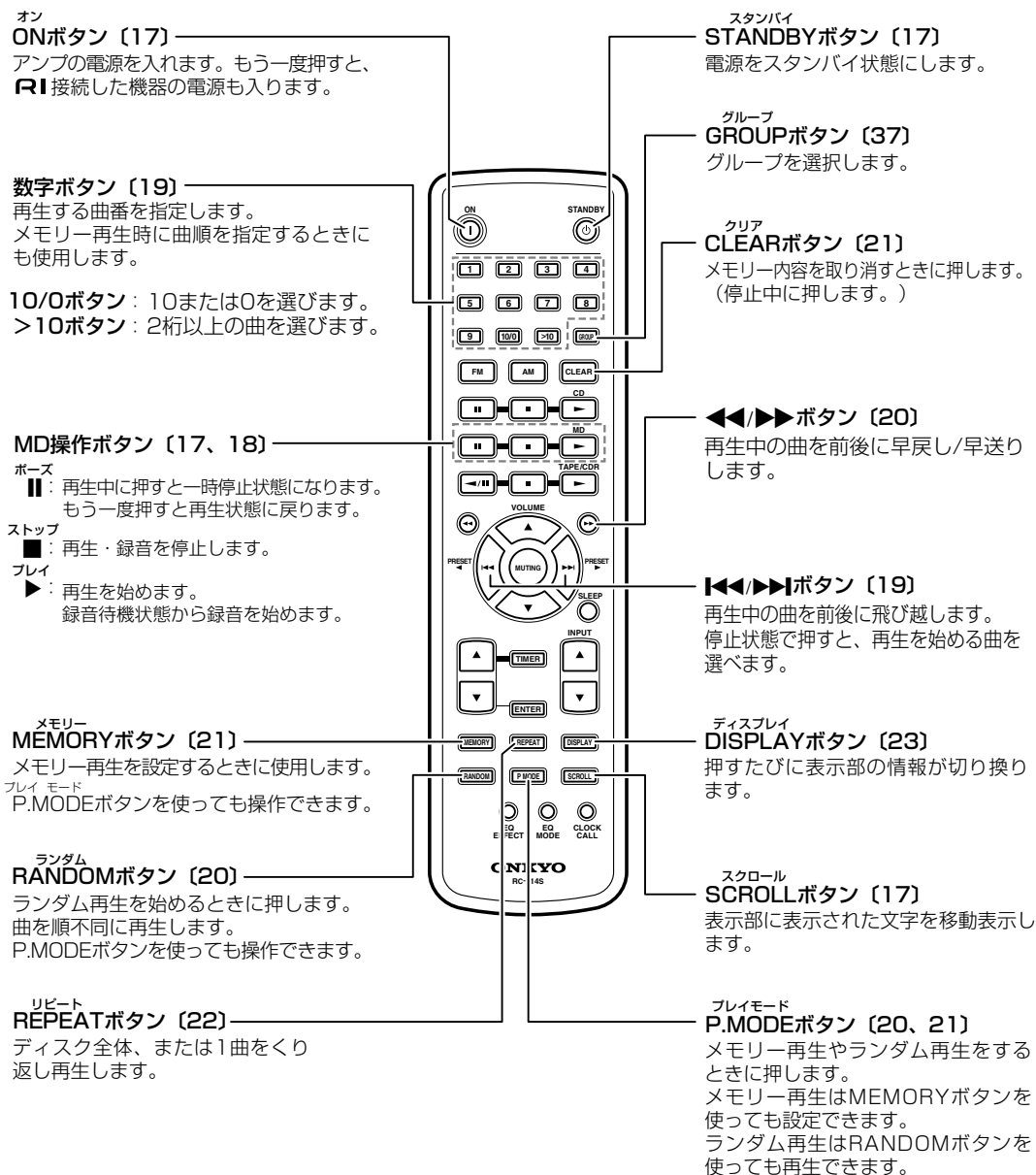
本機に付属のリモコン（RC-601）

〔　　〕内のページに主な説明があります。

本体、リモコンボタンの名前と働き

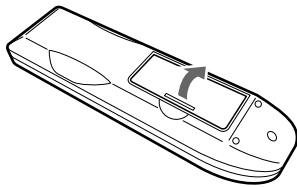
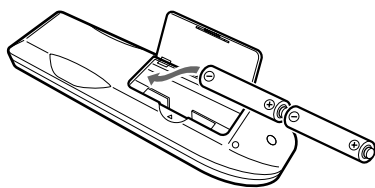
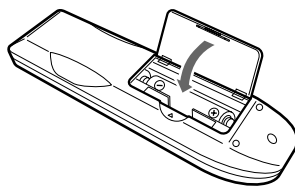
INTEC205シリーズのアンプやAVセンターに付属のリモコン

INTEC205シリーズのアンプやAVセンターに付属のリモコンを使って本機を操作することができます。製品によって操作が異なりますので、組み合わせるアンプやAVセンターの取扱説明書をご覧ください。ここでは、A-905FX（アンプ）に付属のリモコンで説明します。リモコンをアンプのリモコン受光部に向けて操作してください。

〔　　〕内のページに主な説明があります。

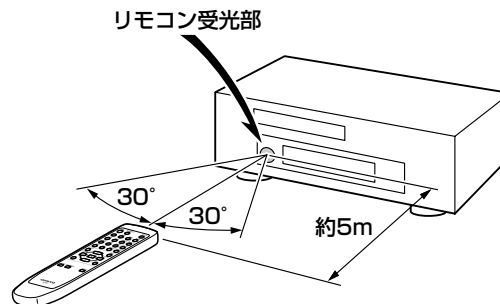
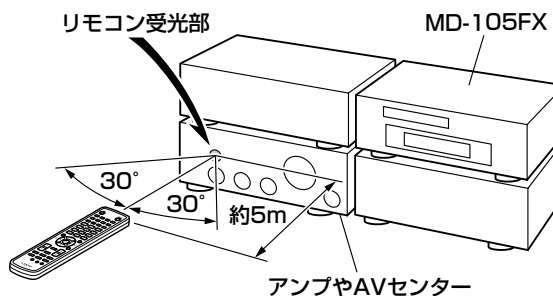
■A-905FXに付属のリモコン（RC-614S）

リモコンを準備する

乾電池を入れる

1. カバーを矢印の方向に持ち上げる

2. 中の極性表示にしたがって付属の乾電池2個をプラス⊕とマイナス⊖を間違えないように入れる

3. カバーを戻す

ご注意

- 種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混用しないでください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出しておいてください。
- 消耗した電池を入れたままにしておきますと腐食によりリモコンをいためることがあります。リモコン操作の反応が悪くなったときは、古い電池を取り出して2本とも新しい電池と交換してください。
- 使用頻度にもよりますが、付属の電池の寿命は約6ヵ月です。電池の交換時には、単3形をご使用ください。

リモコンの使いかた

本機のリモコン受光部に向けて操作してください。

INTEC205シリーズのアンプやAVセンターに付属のリモコンで本機を操作するときは、リモコンをアンプやAVセンターのリモコン受光部に向けてください。

ご注意

- リモコン受光部に日光やインバーター蛍光灯などの強い光を直接当てると正しく動作しないことがあります。
- 赤外線を使った機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- リモコンの上に本など、ものを置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていたり、装飾フィルムを貼っていると、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると操作できません。

接続をする

システム機能について

INTEC205シリーズの組み合わせでRIケーブル、オーディオ用ピンコードを接続すると、次のシステム機能を使うことができます。RIケーブルとは、本機に付属しているオンキヨーのシステム動作用ケーブルです。

システム接続のしかた
(INTEC205シリーズの接続)

アンプやAVセンターの取扱説明書をご覧ください。

オートパワーオン
本機の電源を入れると、アンプやAVセンターの電源が自動的に入ります。また、本機を使用しないときは、本機のみ電源を切ることができます。

ダイレクトチェンジ
本機を再生するとアンプやAVセンターの入力が自動的にMDに切り換わります。

リモコン操作
アンプやAVセンターに付属のリモコンで本機を操作することができます。

詳しくはアンプやAVセンターの取扱説明書をご覧ください。

タイマー操作
チューナーでタイマー再生､タイマー録音ができます。

詳しくはチューナーの取扱説明書をご覧ください。

CDダビング
CDプレーヤーから本機への録音をワンタッチで行える機能です。

詳しくは本取扱説明書25ページをご覧ください。

トラック指定CDダビング
CDで再生トラックを指定して本機への録音がワンタッチで行えます。

詳しくは本取扱説明書27ページをご覧ください。

シンクロ録音
本機を録音待機状態にしておけばＣＤプレーヤーの再生操作のみで録音が自動的に始まります。

詳しくは本取扱説明書31ページをご覧ください。

CDレコーダー、テープデッキからのシンクロ録音
本機を録音待機状態にしておけばCDレコーダー、テープデッキの再生操作のみで録音が自動的に始まります。

詳しくは本取扱説明書32ページをご覧ください。

DLA*LINK機能
CDプレーヤーのピークサーチデータによって、本機がデジタル録音レベルを自動設定します。

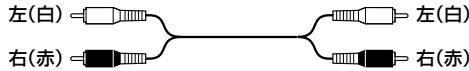
詳しくは本取扱説明書26ページをご覧ください。

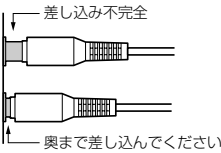
- 接続が正しくないと各機能は働きません。15ページを参照しながらオーディオ用ピンコード、RIケーブルを正しく接続してください。
- システム機能については、各機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 一部旧INTEC205シリーズ製品との組み合わせで動作しない機能があります。新旧製品の連動動作の対応/非対応については、カスタマーセンターにお問い合わせください。

機器を接続する前に

- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 電源コードは全ての接続が終わるまでつながないでください。

オーディオ用ピンコードは以下のように接続してください。

- 入力端子は赤いコネクターを右チャンネル（Rの表示）、白いコネクターを左チャンネル（Lの表示）に接続してください。

- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因になります。

- オーディオ用ピンコードは電源コードやスピーカーコードと束ねないでください。音質が悪くなることがあります。

光デジタル入力端子について

本機の光デジタル入力端子は、防塵用のとびらがあります。とびらをそのまま奥へ倒すようにして光デジタルケーブルを差し込んでください。

ご注意　光デジタルケーブルは、まっすぐ抜き差ししてください。ななめに抜き差しすると、とびらが破損する場合があります。

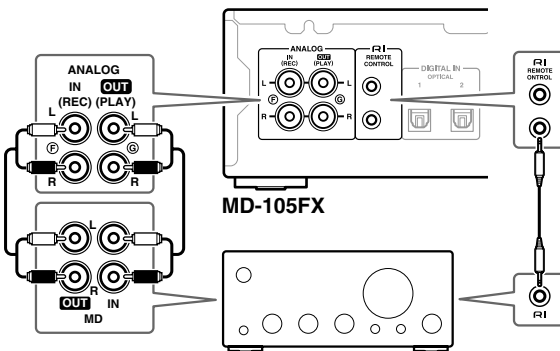
アンプやAVセンターと接続する

本機のANALOG OUT端子Ⓖとアンプや AVセンターのアナログ音声入力端子を接続します。

本機のANALOG IN端子Ⓕとアンプや AVセンターのアナログ音声出力端子を接続します。

RI端子付きのオンキヨー製品と組み合わせてシステム機能を使うときは、付属のRIケーブルで本機のRI端子とアンプやAVセンターのRI端子を接続してください。

例：オンキヨー製アンプ（A-905FX）との接続

ご注意

- 2つのRI端子の働きは同じです。いずれかに接続してください。
- システム機能については、各機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

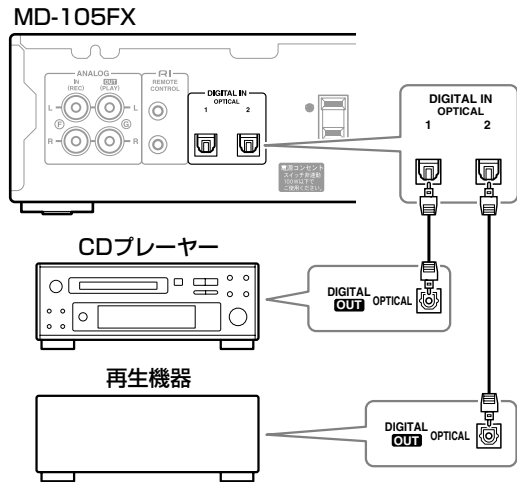
- RI端子の接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。

INTEC205シリーズとの接続は、A-905FX(アンプ)の取扱説明書をご覧ください。

アンプやAVセンター、再生機器とデジタル接続する

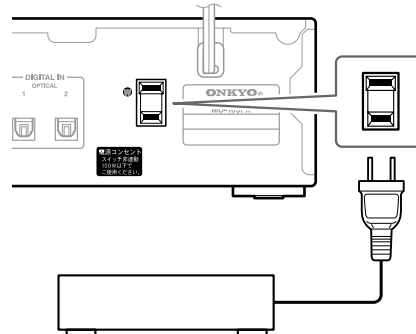
デジタル音声出力端子のあるアンプやAVセンターと接続するときや、デジタル音声出力端子のある再生機器と接続するときは、この接続をしてください。

本機のDIGITAL IN OPTICAL端子とアンプやAVセンター、再生機器のデジタル音声出力端子を接続します。

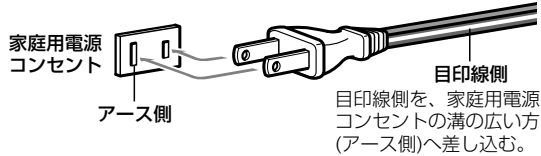
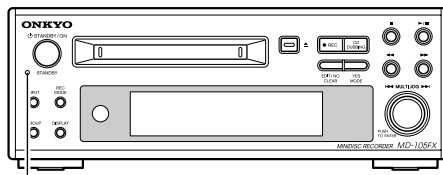
INTEC205シリーズでシステム機能を使うときは、CDプレーヤーをDIGITAL IN OPTICAL 1端子に接続してください。

他機の電源プラグを本機につなぐ

本機後面に電源コンセントがありますので、組み合わせて使用する製品の電源プラグを接続することができます。
本機の電源コンセントは常時通電しています（非連動）。本機の電源コンセントは極性の管理がされています。他機の電源コードや電源プラグに目印がある場合は、目印側を本機の電源コンセントのW側に合わせてください。他機の電源コードに目印がない場合は、どちらを接続してもかまいません。

ご注意

本機の電源コンセントには、合計100Wを超える機器は接続しないでください。

接続をする

電源コードを接続する

電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。

よりよい音で聞いていただくために
本機の電源コンセントは極性の管理がされています。電源コードに線の入っている側を家庭用電源コンセントの溝の広い方に合わせて差し込んでください。家庭用電源コンセントの溝の広さが同じ場合はどちらを接続してもかまいません。

STANDBYインジケーター

電源コードを接続すると、本機のSTANDBYインジケーターが点灯します。

INTEC205シリーズとのシンクロ録音について

本機とINTEC205シリーズとの組み合わせでは、CDプレーヤーでもDVDプレーヤーでもCDダビング、CDシンクロ録音機能が働きます。ただし、CDプレーヤーとDVDプレーヤーの両方をお持ちの場合は、以下の設定でCDプレーヤーのみ働くように設定してください。
- 本機にディスクが入っていない状態で操作してください。

1 **本機の電源を入れる**
STANDBY/ONボタンを押します。

2 **EDIT/NO/CLEAR ボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して表示部に「DVD S. Rec」を表示させ、 MULTI JOG ダイヤルを押す**

「On→Off」と表示されます。

3 **MULTI JOG ダイヤルを押す**

「DVD S. Rec Off」と表示され、設定が完了します。

CDプレーヤーのデジタル出力端子は、本機のDIGITAL IN OPTICAL 1端子に接続してください。この設定は、DIGITAL IN OPTICAL 1端子に反映されます。

オンキヨー製FRシリーズ機器とのシステム動作について

本機と以下の製品を組み合わせてシステム動作をご使用になる場合は、システム動作を可能にするために設定が必要になります。

オンキヨー製FRシリーズの機器
- FR-155GX
- FR-S9GX/S7GX
- FR-S9GXDV/S7GXDV

可能なシステム動作
- 電源連動
- ダイレクトチェンジ
- CDシンクロ録音
- タイマー操作
- オンキヨー製FRシリーズ機器に付属のリモコンのCDR操作ボタンで本機を操作*

*FR-155GXに付属のリモコンは操作できません。

■本機をシステム動作可能に設定する
- 本機にディスクが入っていない状態で操作してください。

1 **本機の電源を入れる**
左項の手順***1*** を行います。

2 **オンキヨー製FRシリーズの機器の入力名を「MD2」にする**
FR-155GX、FR-S9GX/S7GXは、入力表示名「CD-R」を「MD2」に変更します。
FR-S9GXDV/S7GXDVは、入力表示名「TAPE」を「MD2」に変更します。
- 変更のしかたは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

3 **EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOG ダイヤルを回して表示部に「MD2 Mode?」を表示させ、MULTI JOGダイヤルを押す**

「Off→On」と表示されます。

4 **MULTI JOG ダイヤルを押す**

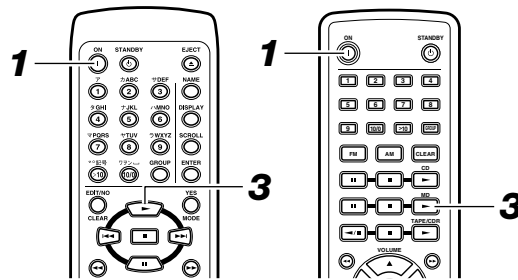
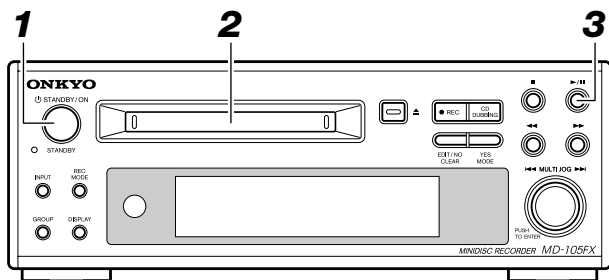
「MD2 Mode On」と表示され、設定が完了します。

ご注意
「On」に設定すると、本機のCDダビング機能は働きません。

MDを聞く

システム操作について

本書では、INTEC205シリーズとの組み合わせで操作説明しています。

1曲目から聞く（ノーマル再生）

本機に付属のリモコン（RC-601）

A-905FX(アンプ)に付属のリモコン（RC-614S）

1 電源を入れる

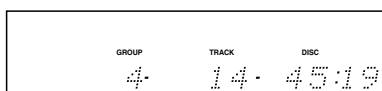
本体のSTANDBY/ONボタン、またはリモコンのONボタンを押します。

本体 または リモコン（RC-601） リモコン（RC-614S）

リモコン（RC-614S）では、1回押すとアンプの電源が入り、もう一度押すと本機の電源が入ります。

2 ディスクを入れる

ラベル面を上に
矢印の方向に差し込む

ディスクを入れると表示部に「Reading」が表示され、その後ディスクのTOC（Table Of Contents）目次情報を読み取ると、ディスクの総曲数と総再生時間が表示されます。
ディスクの内容によっては、60秒程度かかることがあります。

グループ数* 総曲数 総再生時間

*グループがあるとき

何も録音されていないディスクを入れると、表示部に「Blank Disc」と表示されます。

ご注意

本機がスタンバイ状態のときは、ディスクを挿入できません。

！ヒント

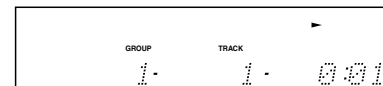
ディスク名（ネーム）が記録されたディスクを入れると、表示部にディスク名が表示され、後に総曲数と総再生時間が表示されます。
また、リモコンのSCROLLボタンを押して、ディスク名を確認することができます。

3 再生を始める

本体 または リモコン（RC-601）

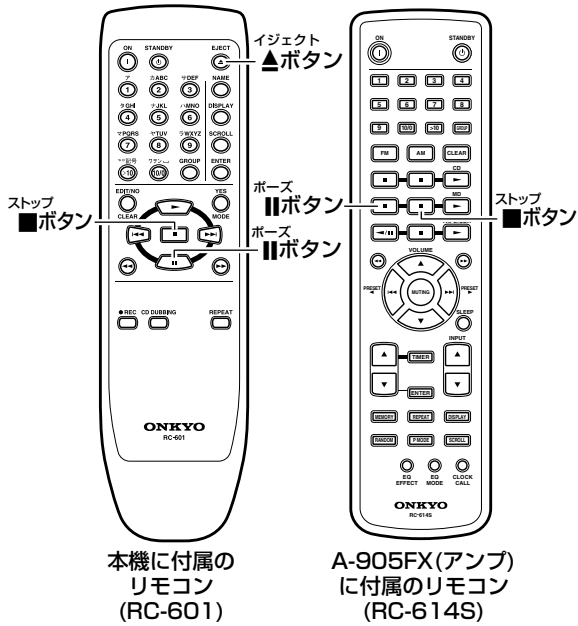
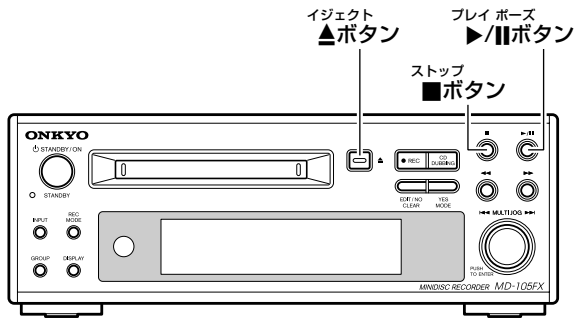
リモコン（RC-614S）

本体の►/❚❚ボタンまたはリモコンの►ボタンを押すと1曲目から再生が始まります。

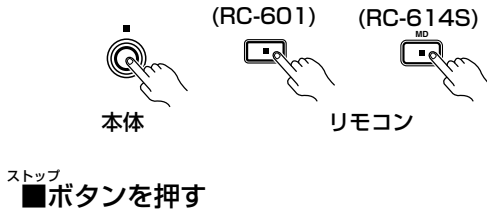
GROUP TRACK ►
1 1 0:01

！ヒント

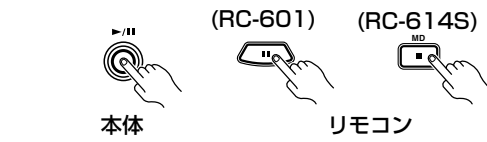
本体のMULTI JOGダイヤルを押しても再生が始まります。

本機をスタンバイ状態にするには
本機のSTANDBY/ONボタンまたはリモコンのSTANDBYボタンを押します。

MDを聞く

本機に付属の
リモコン
(RC-601)

A-905FX(アンプ)
に付属のリモコン
(RC-614S)

再生を止めるには

ストップ
■ボタンを押す

再生を一時停止するには

プレイ/ポーズ　　　　　　　　　ポーズ
本体の▶/❚❚ボタンまたはリモコンの❚❚ボタンを押す

再び再生するには、本体の▶/❚❚（プレイ/ポーズ）ボタンまたはリモコンの▶（プレイ）ボタンを押します。

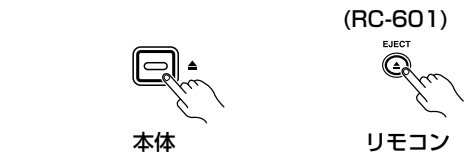
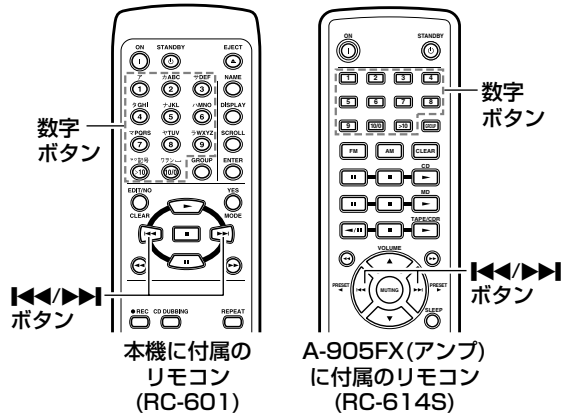
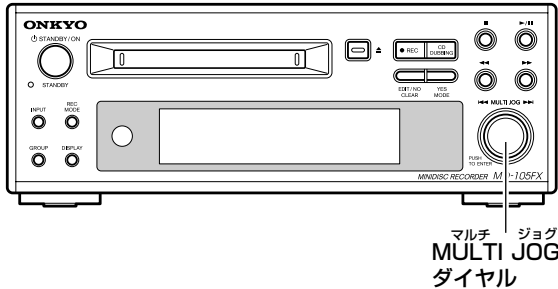
ディスクを取り出すには

イジェクト
▲ボタンを押す

「Eject（イジェクト）」が表示され、ディスクが出てきます。

聞きたい曲から再生するには

本機に付属の
リモコン
(RC-601)

A-905FX(アンプ)
に付属のリモコン
(RC-614S)

ダイレクト再生（聞きたい曲番を直接選ぶ）

RC-601

RC-614S

リモコンの数字ボタンを押して曲番を指定する

指定した曲の再生が始まります。

10曲目を選ぶ

11曲目以上の曲を選ぶときは、ディスクの総曲数により、次のようになります。

例：25曲目を選ぶ

>10、2、5（総曲数が99曲以下）

>10、10/0、2、5（総曲数が999曲以下）

>10、10/0、10/0、2、5（総曲数が1000曲以上）

例：125曲目を選ぶ

>10、1、2、5（総曲数が999曲以下）

>10、10/0、1、2、5（総曲数が1000曲以上）

スキップ再生（聞きたい曲番を選ぶ）

本体

または

リモコン
(RC-601)

リモコン
(RC-614S)

再生中に本体のMULTI JOG（マルチ ジョグ）ダイヤル、またはリモコンの⏮/⏭ボタンで曲番を選ぶ

再生中の曲を中止して後の曲を選ぶには

- MULTI JOGダイヤルを右に回します。
  または、リモコンの⏭ボタンを押します。

再生中の曲をもう一度頭から聞いたり、前の曲を選ぶには

- MULTI JOG（マルチ ジョグ）ダイヤルを左に回します。
  または、リモコンの⏮ボタンを押します。

メモリー再生中に操作するとメモリーされた順に曲番が選べます。（21ページ参照）

サーチ（聞きたい部分を探す）

◀◀/▶▶ボタン

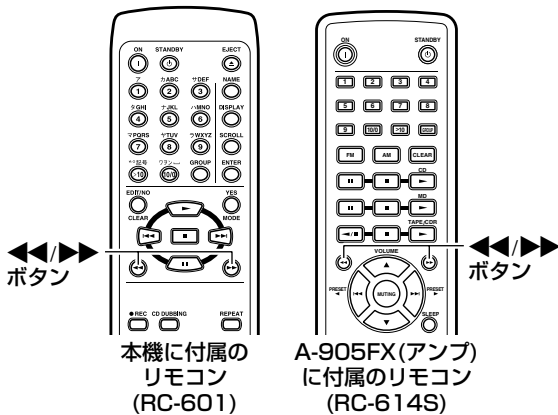
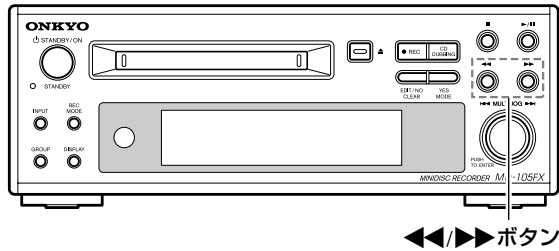
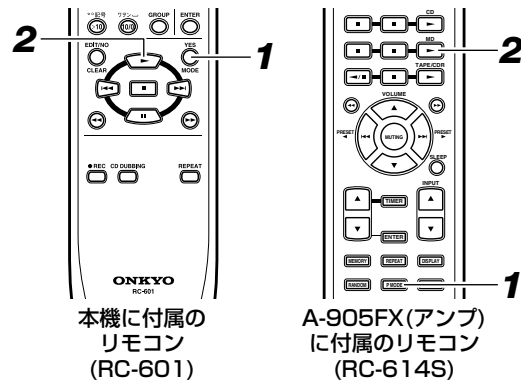
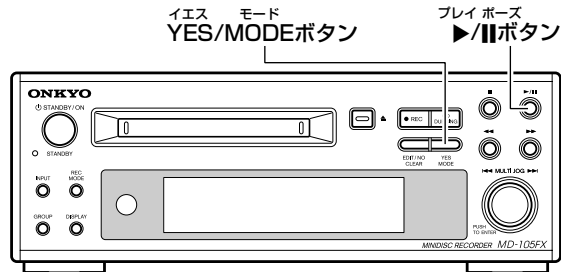
◀◀/▶▶ボタン

◀◀/▶▶ボタン

本機に付属のリモコン(RC-601)

A-905FX(アンプ)に付属のリモコン(RC-614S)

本体

または

リモコン(RC-601)

リモコン(RC-614S)

音を聞きながら探す(再生中)

再生中に◀◀または▶▶ボタンを押し続け、聞きたい部分で指を離します。

時間表示を見ながら探す(一時停止中)

一時停止中に◀◀または▶▶ボタンを押し続け、聞きたい部分の時間表示を確認して指を離します(高速サーチ)。本体またはリモコンの▶(プレイ)ボタンを押すと再生を始めます。

◀◀または▶▶ボタンを押してからサーチ開始まで、最長で10秒かかることがあります。

順不同で聞く(ランダム再生)

YES/MODE(イエス/モード)ボタン　▶/II(プレイ/ポーズ)ボタン

本機に付属のリモコン(RC-601)

A-905FX(アンプ)に付属のリモコン(RC-614S)

1

本体

リモコン(RC-601)

リモコン(RC-614S)

「ランダム」モードを選ぶ

本体および本機に付属のリモコン(RC-601)の場合：

停止中にYES/MODE(イエス/モード)ボタンをくり返し押して、表示部に「RDM(ランダム)」を表示させます。

A-905FXに付属のリモコン(RC-614S)の場合：

停止中にP MODE(プレイ モード)ボタンをくり返し押して、表示部に「RDM」を表示させます。

本体

または

リモコン(RC-601)

リモコン(RC-614S)

本体の▶/II(プレイ/ポーズ)ボタンまたはリモコンの▶(プレイ)ボタンを押す

ランダム再生が始まります。

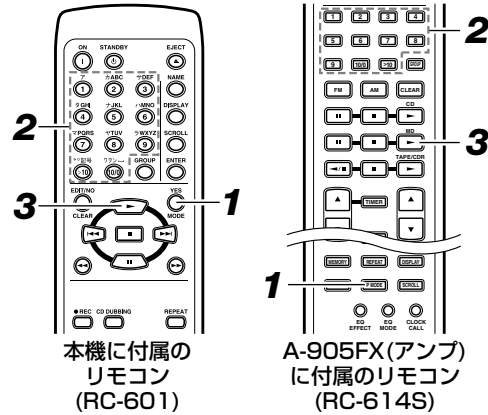
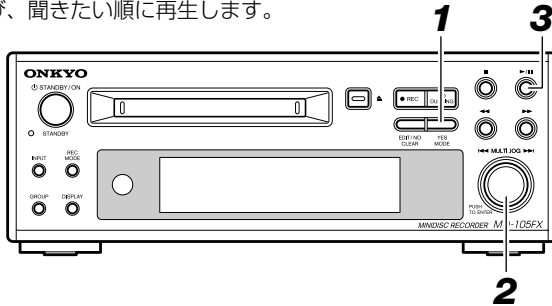
ランダム再生モードから通常再生に戻すには

- 本体およびRC-601の場合は、■(ストップ)ボタンを押し、表示部に「NORMAL(ノーマル)」表示が出るまでYES/MODEボタンを押します。
- RC-614Sの場合は、■ボタンを押し、表示部に「NORMAL」表示が出るまでP MODEボタンを押します。

ご注意

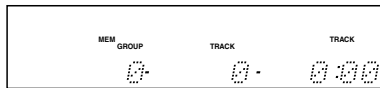
ランダム再生モードは、▲(イジェクト)ボタンやSTANDBY/ON(スタンバイ/オン)ボタンを押すと解除されます。

予約再生をする（メモリー再生）

25曲まで予約できます。ディスクの中の聞きたい曲を選び、聞きたい順に再生します。

本機に付属のリモコン(RC-601)　A-905FX(アンプ)に付属のリモコン(RC-614S)

1 「メモリー」モードを選ぶ

本体／または／リモコン(RC-601)／リモコン(RC-614S)

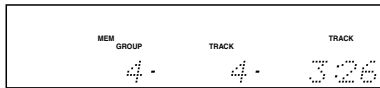
本体操作の場合：
停止中にYES/MODEボタンをくり返し押して、表示部に「MEM」を表示させます。

本機に付属のリモコン(RC-601)の場合：
停止中にYES/MODEボタンをくり返し押して、表示部に「MEM」を表示させます。

A-905FXに付属のリモコン(RC-614S)の場合：
停止中にP MODEボタンをくり返し押して、表示部に「MEM」を表示させます。

2 聞きたい曲を聞きたい順に選ぶ

本体

または／リモコン(RC-601)／リモコン(RC-614S)

MULTI JOGダイヤルを回して予約したい曲番を表示させた状態で、MULTI JOGダイヤルを押します。

リモコンでは
聞きたい曲番の数字ボタンを押します。

リモコンで10曲目以上を選ぶには
曲番の選びかたについては、19ページ「ダイレクト再生」をご覧ください。

グループに入っている曲を選ぶとき
グループを選んでから曲を選ぶこともできます。

1. **GROUPボタンを押す**
2. **MULTI JOGダイヤルを回してグループ番号を選び、MULTI JOGダイヤルを押す**
   リモコンでは、数字ボタンでグループ番号を選びます。
3. **MULTI JOGダイヤルを回して曲番を選び、MULTI JOGダイヤルを押す**
   リモコンでは、数字ボタンで曲番を選びます。

選んだ曲がメモリー登録されます。

予約内容を確認をするには
停止中に◀◀、▶▶ボタンを押して予約内容を確認できます。

ご注意
予約時間の合計が1000分以上になると、「−−：−−」表示になります。

3 本体の▶/❚❚ボタンまたはリモコンの▶ボタンを押す

本体／または

リモコン(RC-601)

リモコン(RC-614S)

メモリー再生が始まります。

メモリー再生が終わると
予約内容は記憶されたまま、停止状態になります。

メモリー再生モードを取り消すには
本体及び本機に付属のリモコン(RC-601)では、表示部に「NORMAL」表示が出るまでYES/MODEボタンを押します。
A-905FXに付属のリモコン(RC-614S)では表示部に「NORMAL」表示が出るまでP MODEボタンを押します。

予約内容を取り消すには
メモリー再生停止中にリモコンのEDIT/NO/CLEARボタン(RC-614SではCLEARボタン)を押すたびに最後の予約曲から取り消されます。

ご注意
メモリーモードは、▲ボタンやSTANDBY/ONボタンを押すと解除されます。

MD-105FX(17-23)(SN29343986A)　21　05.4.7, 10:06 AM
ブラック

くり返し再生する（全曲リピート/1曲リピート） リモコン

本機に付属の
リモコン
(RC-601)

A-905FX(アンプ)
に付属のリモコン
(RC-614S)

全曲をくり返す（全曲リピート）

リモコン
(RC-601)

リモコン
(RC-614S)

REPEATボタンを1回押す

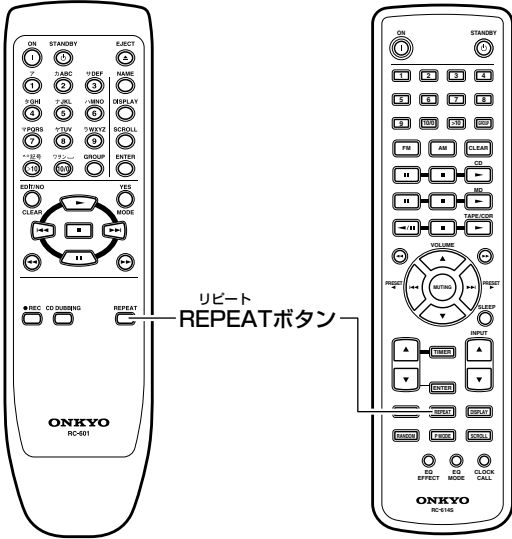
表示部に「REPEAT」が表示されます。

1曲をくり返す（1曲リピート）

リモコン
(RC-601)

リモコン
(RC-614S)

再生中にREPEATボタンを2回押す

表示部に「REPEAT 1」が表示されます。

！ヒント

メモリーモード時にREPEATボタンを押すと
メモリーした曲だけをメモリー順にくり返し再生します。

ランダム再生中にREPEATボタンを押すと
ランダム再生で全曲をくり返すたびに、曲順を入れ換えてくり返し再生します。

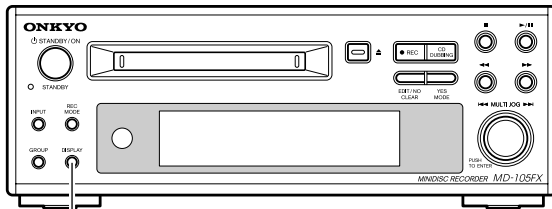
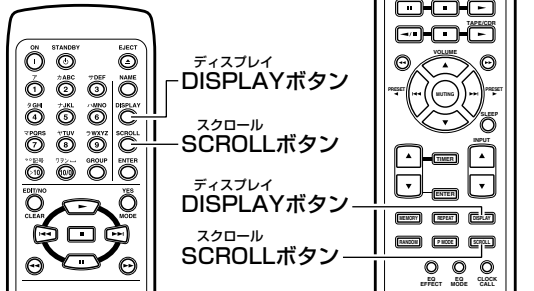
ご注意

メモリー再生中、ランダム再生中は、REPEAT 1（1曲をくり返す）は働きません。

くり返し再生をやめるには
「REPEAT」表示が消えるまで、REPEATボタンをくり返し押してください。

ご注意

全曲リピートモード、1曲リピートモードは、▲ボタンやSTANDBY/ONボタンを押すと解除されます。

表示内容を切り換える

ディスクの情報を切り換える

停止状態でDISPLAYボタンをくり返し押すと、次のようにディスクの情報の切り換えができます。

＊1 グループが作成されているディスクのみ

- Hi-MD時、総再生時間が999分59秒を越えるときは、「－－－：－－－」表示になります。さらにDISPLAYボタンを押すと、「＊h＊＊m＊＊s」に切り換わります。

曲の情報を切り換える

再生中または一時停止中に、DISPLAYボタンをくり返し押すと、次のように再生中または一時停止中の曲の情報の切り換えができます。

＊1 グループが作成されているディスクのみ
＊2 Hi-MDモードで録音されたディスクのみ（☞24ページ）
＊3 表示は一例です。名前がついていないときは、表示されません。

- DISPLAYボタンを押し続けると、その曲の録音モードが表示されます。パソコンなどを使って本機にはない録音モードで録音された曲の場合は、ビットレート(＊＊kbps)が表示されます。
- 停止状態で曲が選択されているときは、曲時間→曲名→アルバム名→アーティスト名→グループ名に切り換わります。

！ヒント

曲名が長い場合は

リモコンのSCROLLボタンを押して、表示を移動させます。
移動中にSCROLLボタンを押すと表示が止まります。
再度押すと、移動が始まります。

録音する

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
お問い合わせ先：(社)私的録音補償金管理協会
Tel. 03-5353-0336

Hi-MDモードとMDモードについて

本機には「Hi-MDモード」と「MDモード」の2つの動作モードがあります。この動作モードは挿入されたディスクにより自動的に切り換わります。
ディスクを挿入すると、表示部に「Hi-MD」表示または「MD」表示が点灯し、現在の動作モードを表示します。

「MD」が表示されるとき（MDモード）
- 従来の80/74/60分ディスクで、すでにMDモードで録音されているディスクを入れたとき

「Hi-MD」が表示されるとき（Hi-MDモード）
- Hi-MD規格専用１GBディスクを入れたとき
- 従来の80/74/60分ディスクで、すでにHi-MDモードで録音されているディスクを入れたとき

Hi-MDモードについてのご注意：
「Hi-MDモード」では、「MDモード」に比べて長時間録音ができます。また、リニアPCM（デジタル圧縮しない音声記録方式）でCDと同じ音質で録音することもできます。
ただし、Hi-MDモードで録音したディスクは、Hi-MD対応機器以外では再生できません。
本機で録音したディスクをお手持ちのMD機器（ポータブルMDや車載のMDプレーヤーなど）でも再生するときは、その機器がHi-MDに対応しているかどうかをご確認ください。Hi-MDに対応していない場合、本機での録音の際にはMDモードをご使用ください。
詳細は、お手持ちの機器の取扱説明書をご覧ください

Hi-MDモードとMDモードを切り換えるには
従来の80/74/60分ディスクは、MDフォーマットまたはHi-MDフォーマットに初期化することが可能です。
初期化すると記録されている曲などのデータもすべて消去されますのでご注意ください。
初期化のしかたは52ページ「ディスクを初期化する」を参照ください。
※54ページ「Hi-MDについて」も合わせてご覧ください。

録音モードについて

MDモード時の録音モードと録音可能時間

録音モード ＼ ディスクの種類	80分ディスク	74分ディスク	60分ディスク
Stereo(SP)（ステレオ録音）	約80分	約74分	約60分
Stereo(LP2)（ステレオ録音）	約2時間40分	約2時間28分	約2時間
Stereo(LP4)（ステレオ録音）	約5時間20分	約4時間56分	約4時間
Mono（モノラル録音）	約2時間40分	約2時間28分	約2時間

MDモード
- **SP**：通常のステレオ録音モードです。ディスクに記載されている時間分のステレオ録音ができます。
- **LP2**：通常のステレオ録音を1/2に圧縮して録音します。録音可能時間は「SP」の2倍になります。
- **LP4**：通常のステレオ録音を1/4に圧縮して録音します。録音可能時間は「SP」の4倍になります。
- **MONO**（モノ）：モノラル録音モードです。録音可能時間は「SP」の2倍になります。

Hi-MDモード時の録音モードと録音可能時間

録音モード ＼ ディスクの種類	Hi-MD規格専用1GBディスク	80分ディスク	74分ディスク	60分ディスク
Hi-MD(PCM)（非圧縮ステレオ録音）	約1時間34分	約28分	約26分	約21分
Hi-MD(SP)（ステレオ録音）	約7時間55分	約2時間20分	約2時間10分	約1時間45分
Hi-MD(LP)（ステレオ録音）	約34時間	約10時間10分	約9時間25分	約7時間40分

Hi-MDモード
- **PCM**：非圧縮の録音モードです。
- **Hi-SP**：Hi-MDの通常のステレオ録音モードです。
- **Hi-LP**：Hi-MDのステレオ長時間録音モードです。

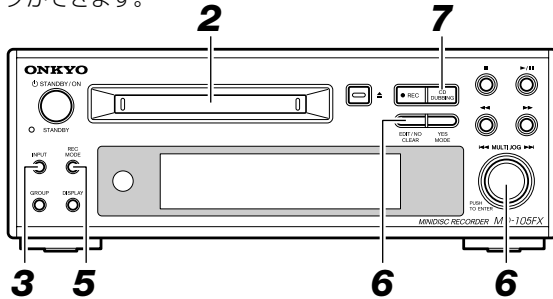
- 1曲で録音できる時間は、最長で約999分です。

録音モード選択時のご注意：
本機で録音したディスクをお手持ちのMD機器でも再生するときは、その機器が対応している録音モードを選んでください。
MD LP2/LP4モードは、MD-SPモードと比べて高い圧縮率で記録しています。お手持ちの機器（ポータブルMDや車載のMDプレーヤーなど）で再生するときは、その機器がMDLPに対応しているかどうかご確認ください。MDLPに対応していない場合、本機での録音の際には、MD-SPモードをご使用ください。
また、Hi-MDモードで録音したディスクは、Hi-MD対応機器以外では再生できません。
本機で録音したディスクをお手持ちのMD機器（ポータブルMDや車載のMDプレーヤーなど）でも再生するときは、その機器がHi-MDに対応しているかどうかをご確認ください。Hi-MDに対応していない場合、本機での録音の際にはMDモードをご使用ください。
お手持ちの機器が対応している機能については、その機器の取扱説明書をご覧ください。

ご注意
- 1枚のディスク内に、Hi-MDモード、MDモードを混在させることはできません。
- Hi-MDモードはMDの新しい形式で、従来の音楽データだけでなく、パソコンを使ってテキスト（文字）や画像データを記録することができます。本機で可能な操作は音楽データの録音、再生、削除のみです。また、パソコンでファイルとして転送された音楽データは本機では再生できません。

ディスクの録音可能な残り時間を確認するには
録音可能時間が表示されていないときは、DISPLAY（ディスプレイ）ボタンを（くり返し）押してください。

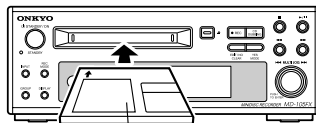
CDダビング（システム操作）

INTEC205シリーズのアンプやAVセンター、CDプレーヤーでシステム接続した場合、CDから本機へのCDダビングができます。

ご注意

- CDダビングには、本機のDIGITAL IN OPTICAL 1端子にCDプレーヤーからの光デジタルケーブルが接続されていることが必要です。システム接続については、アンプやAVセンターの取扱説明書をご覧ください。
- 通常の録音をするには、「アナログ入力を録音する」（28ページ）または「デジタル入力を録音する」（30ページ）をご覧ください。
- MDの誤消去防止孔が閉じていることを確認してください。孔が開いている状態では録音できません。

1 CDを入れる

CDの入れかたについては、CDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

2 録音用のディスクを入れる

ラベル面を上に
矢印の方向に差し込む

！ヒント

録音できる残り時間を確かめるには

停止状態でDISPLAYボタンを押すと、次のように表示をくり返します。

ディスクの総曲数と総録音時間
▼
録音可能な残り時間
▼
ディスク名/グループ名/アルバム名/アーティスト名など（詳細は23ページをご覧ください。）

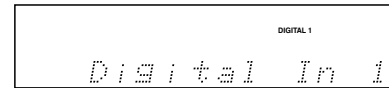
録音済みディスクのすべてを消して録音するには

ディスク内容をすべて消してから録音を始めてください。（42ページ参照）

3 「Digital In 1」を選ぶ

INPUT

INPUTボタンをくり返し押し、「Digital In 1」を表示させます。

ご注意

「Analog In」「Digital In 2」ではCDダビング機能は働きません。

4 動作モードを確認する

「MDモードとHi-MDモードについて」（☞24ページ）

Hi-MD:Hi-MDモード、MD:MDモード

動作モードを変更したいとき：

「ディスクを初期化する」（☞52ページ）

5 録音モードを選ぶ

REC MODE

REC MODEボタンで好みの録音モードを選びます。（☞24ページ）

ボタンを押すごとに録音モードが切り換わります。

MDモードのとき（☞24ページ）

Hi-MDモードのとき（☞24ページ）

ご注意

LP2/LP4モードで記録したディスクは、LP2/LP4モード搭載の機器以外では再生できません。また、Hi-MDモードで記録したディスクは、Hi-MDモード搭載の機器以外では再生できません。

▷次ページに続く

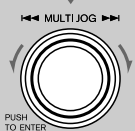
MD-105FX(24-33)(SN29343986A) 25 05.4.7, 10:07 AM
ブラック

6

CDダビングモードを選ぶ

フェードアウトモードのOn/Offを切り換えます。

On：フェードアウトモードが働きます。最後まで録音できなかった曲を途中でフェードアウト（徐々に音量を小さく）します。

Off：フェードアウトモードが働きません。

① EDIT/NO/CLEARボタンを押した後、MULTI JOGダイヤルを回して「Fade Dub?」を表示させる

```
Fade Dub?
```

② MULTI JOGダイヤルを押す。

現在の設定がOffのときは、下記のように表示されます。「現在の設定はオフです。オンにしますか？」という意味です。

```
Off → On?
```

③ 切り換える（Onにする）ときは、MULTI JOGダイヤルを押す

④ 切り換えない(Offのままにする)ときは、EDIT/NO/CLEARボタンを押す

「Protected」が表示されたときは…

EDIT/NO/CLEARボタンを押したとき「Protected」が表示された場合は、ディスクの誤消去防止孔が開いた状態になっています。録音するには、閉じた状態に戻してください。（53ページ参照）

7

CD DUBBINGボタンを押す

CDは、ピークサーチを行い、本機はそのピーク値に合った最適な録音レベルに自動設定します。（DLA Link機能）その後本機が自動的に録音待機状態になりCDの再生が1曲目からスタートして、全曲のデジタル入力録音を行います。CDの再生が終わると、本機は停止します。

録音を止めるには

■ボタンを押します。

！ヒント

CDダビング中に、CD DUBBINGボタンを押すと現在のCDダビングモードの設定が確認できます。

DLA : Digital Rec Level Adjustmentの略です。

トラック指定CDダビング（システム操作）

INTEC205シリーズのアンプやAVセンター、CDプレーヤーでシステム接続した場合、CDプレーヤーが再生中、または一時停止の曲を１曲だけワンタッチで録音できます。

1

(CDプレーヤー)

CDを再生する

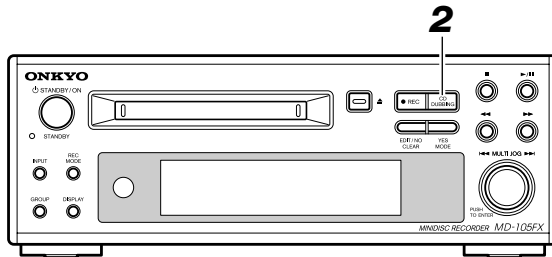
好みの曲を再生します。

2

CD DUBBINGボタンを押す

CDは、再生中の曲の頭にもどり本機はその曲だけ録音します。 DLA Link機能が働きます。（26ページ参照）
曲が終わるとCDは次の曲の再生を続け本機は停止します。

！ヒント

CDダビングモードでフェードアウトモードを「On」に設定していると、最後まで録音できなかった曲を途中でフェードアウト（除々に音量を小さく）します。

グループ録音

録音時、複数の曲をひとまとまりのグループにして録音することができます。
お買い上げ時は「On」に設定されています。

停止中

1

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して、「Group Rec?」を表示させる

```
Group Rec?
```

2

MULTI JOGダイヤルを押す

現在の設定が「Off」のときは、下記のように表示されます。

```
Off → On?
```

On：グループ録音モードが働きます。■ボタンを押すまで録音された曲が1つのグループとして録音されます。
Off：グループ録音モードは働きません。

ご注意

「On」に設定しているときでも、トラック指定CDダビンクでは、グループ録音モードは働きません。

3

MULTI JOGダイヤルを押して確定する

この設定を途中で止めたいときは、EDIT/NO/CLEARボタンを押します。

！ヒント

- 録音中にGROUPボタンを押すと、現在の設定が表示されます。
- リモコンのEDIT/NO/CLEARボタン、◀◀/▶▶ボタン、ENTERボタンでも操作することができます。

グループ機能については、35ページをご覧ください。

アナログ入力を録音する（オーディオ用ピンコードからの入力を録音します。）

1 STANDBY/ONボタンを押す

STANDBY/ON

STANDBYインジケーターが消灯します。

2 録音用のディスクを入れる

17ページの手順*2*を参考に録音用のディスクをセットしてください。

3 「Analog In」を選ぶ

INPUT

INPUTボタンをくり返し押して、「Analog In」を表示させます。

ANALOG
Analog In

ご注意

アンプの入力が録音ソースを選んでいることを確認してください。

4 動作モードを確認する

25ページの手順*4* を参考に動作モードを確認してください。

5 録音モードを選ぶ

REC MODE

REC MODEボタンを押して録音モードを選びます。ボタンを押すごとに録音モードが切り換わります。

25ページの手順*5* を参考に録音モードを選んでください。

6 録音ソースを再生する

INTEC205シリーズのCDプレーヤーとシステム接続している場合は、ここでCDプレーヤーの再生を始めてください。

7 録音待機状態にする

REC

●RECボタンを押します。

グループ録音設定が「On」のときは、録音開始時に新しいグループを作成して録音するため1曲目と表示されます。

8 録音レベルを調整する

EDIT/NO CLEAR

① EDIT/NO/CLEARボタンを押した後、MULTI JOGダイヤルを回して「Rec Level?」を表示させる

ANALOG
Rec Level ?

② MULTI JOGダイヤルを押す

MULTI JOG
PUSH TO ENTER

③ MULTI JOGダイヤルを回して録音レベルを調整する

入力レベル

入力レベルが最も大きいときに −4dBが時々点灯するように調整します。また、録音レベルの設定値がデシベル（dB）で表示されますので録音時の目安にしてください。

！ヒント

−60.0dB〜−30.0dBの間は5dB間隔で−30.0dB〜−12.5dBの間は2.5dB間隔で−12.5dB〜＋18.0dBの間は0.5dB間隔で調整することができます。

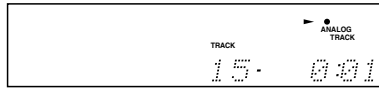
MULTI JOG
PUSH TO ENTER

④ MULTI JOGダイヤルを押す

「Complete」が表示されます。

録音レベル調整後、録音ソースの再生を止めます。

9

録音を始める

本体の►/❚❚（プレイ/ポーズ）ボタンを押してから、録音ソースの再生を始めます。録音が開始されたらTOC（トック）表示が点灯します。
ディスクの最後まで録音すると停止します。
レベルシンク機能を「オン」にしているときに、無音部があると曲番は自動的に記録されます。

ご注意

録音する曲の強弱により、曲の切れ目を判断するため、以下の場合は曲番が正しくつかないことがあります。

- カセットテープの記録状態が悪い。（曲と曲の間のノイズなど）
- クラシック音楽などで小さい音が続いている。
- 曲と曲の間が非常に短い。
- チューナーの受信状態が悪い。（ノイズなど）

  レベルシンク機能を解除したいときは、33ページの「レベルシンク機能」をご覧ください。

手動で曲番をつけるには
録音中に曲番をつけたいところで●REC（レック）ボタンを押します。ただし、あまり間隔が短い(約4秒以下）と曲番がつかないことがあります。

録音を一時停止するには

►/❚❚ボタンを押します。再び録音するには、再度ボタンを押します。

録音を止めるには
■（ストップ）ボタンを押します。

録音結果を確かめるには
33ページをご覧ください。

ディスクを取り出すには
停止中に▲（イジェクト）ボタンを押します。

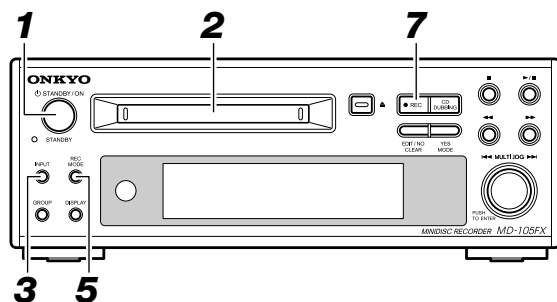
TOC表示が点灯、点滅しているときは
曲番などの情報は、MDを取り出すとき、スタンバイ状態になるとき、録音停止時などにMDの目次部分（TOC（トック）＝Table（テーブル） Of（オブ） Contents（コンテンツ））に書き込まれます。
以下のときは、電源プラグを抜いたり、揺らしたりしないでください。正しい記録ができません。

- **TOC表示が点灯しているとき**
  MDのTOCに書き込む情報が本体のメモリーに保存されている状態です。
- **TOC表示が点滅しているとき**
  MDに情報を書き込んでいます。
  書き込みには最長で90秒かかることがあります。

録音する

デジタル入力を録音する（オーディオ用光デジタルケーブルからの入力を録音します。）

デジタル録音について

本機にはサンプリングレートコンバーターが搭載されていますので、CD（PCM 44.1kHz ）以外のデジタル外部機器（DAT，衛星放送など）からのデジタル信号（PCM 32kHzや48kHz）も録音することができます。

1 STANDBY/ONボタンを押す

STANDBYインジケーターが消灯します。

2 録音用のディスクを入れる

17ページの手順***2*** を参考に録音用のディスクをセットしてください。

3 「Digital In 1」または「Digital In 2」を選ぶ

INPUTボタンをくり返し押して、「Digital In 1」または「Digital In 2」を表示させます。

ご注意

「D.In.Unlock」が表示されるとき

どちらの入力端子に光デジタルケーブルが接続されているか確認してください。入力端子を接続せずにデジタル入力録音を行うと「D. In Unlock」が表示され、録音ができません。INTEC205シリーズのCDプレーヤーと接続する場合は「DIGITAL INPUT 1」に接続してください。

4 動作モードを確認する

25ページの手順***4*** を参考に動作モードを確認してください。

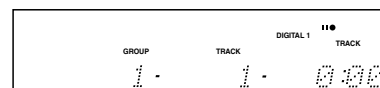
5 録音モードを選ぶ

REC MODEボタンを押して録音モードを選びます。ボタンを押すごとに録音モードが切り換わります。
25ページの手順***5*** を参考に録音モードを選んでください。

6 録音ソースを再生する

INTEC205シリーズのCDプレーヤーとシステム接続している場合は、ここでCDプレーヤーの再生を始めてください。

7 録音待機状態にする

●RECボタンを押します。
"D. In Unlock" と表示されたらデジタル信号が正常に入力されていません。接続を確認してください。

8 録音レベルを調整する

28ページの手順***8***-①～***8***-④を参考に録音レベルを調整してください。

9

録音を始める

1- 0:01

本体の►/❚❚ボタンを押してから、録音ソースの再生を始めます。録音が開始されたらTOC表示が点灯します。

録音を一時停止するには

►/❚❚ボタンを押します。再び録音を始めるには、再度ボタンを押します。

録音を止めるには

■ボタンを押します。

ディスクを取り出すには

■ボタンを押してから、▲ボタンを押します。

！ヒント

本機へのデジタル録音の場合は、レベルシンク（33ページ）をオフに設定していても自動的に曲番がつきます。
曲番を自動的につけるには、デジタル信号に曲の終わりと始めを認識させるための信号が含まれている必要があります。機器や放送の中にはこの信号を出さないものがあります。この場合は曲番は自動的につきません。33ページのレベルシンク機能を利用してください。

TOC表示が点灯、点滅しているときは

曲番などの情報は、MDを取り出すとき、スタンバイ状態になるとき、録音停止時などにMDの目次部分（TOC＝Table Of Contents）に書き込まれます。

以下のときは、電源プラグを抜いたり、揺らしたりしないでください。正しい記録ができません。

- **TOC表示が点灯しているとき**
  MDのTOCに書き込む情報が本体のメモリーに保存されている状態です。
- **TOC表示が点滅しているとき**
  MDに情報を書き込んでいます。
  書き込みには最長で90秒かかることがあります。

CDシンクロ録音（システム操作）

INTEC205シリーズのアンプやAVセンター、CDプレーヤーとシステム操作した場合、CDシンクロ録音ができます。

1

録音の準備をする

録音の準備については、「アナログ入力を録音する（28ページの手順***1***〜***5***）」、「デジタル入力を録音する（30ページの手順***1***〜***5***）」をご覧ください。
デジタル入力でＣＤシンクロ録音をするには、本機のDIGITAL IN OPTICAL 1端子とCDプレーヤーのデジタル出力端子を光デジタルケーブルで接続してください。

2

本機を録音待機状態にする

●RECボタンを押します。

3

（CDプレーヤー）

CDを再生する

本機の表示部に時間表示（0：00）が点灯してから、CDプレーヤーの►ボタンを押してください。「Synchro Rec」と表示され、録音を開始します。

録音レベルが適当でないときは、28ページの手順***8*** を参考にして録音レベルを調整してください。

CDの再生が終了すると、本機は録音待機状態になります。

シンクロ録音を途中でやめるには、ＣＤの再生を停止します。本機は録音待機状態になります。

！ヒント

CDを一時停止状態から再度再生させるとき、❚❚ボタンを押して再生を始めた場合には、シンクロ録音は働きませんので、録音レベルを調整するときなどに使用すると便利です。

ご注意

アナログ入力録音のとき、アンプの入力切り換えツマミは、CDの位置に合わせ、録音中は切り換えないでください。切り換えると、MDは録音待機状態になります。

テープデッキから本機へのシンクロ録音（システム操作）

INTEC205シリーズのアンプやAVセンター、テープデッキとシステム操作した場合、テープデッキから本機へのシンクロ録音ができます。

1 「Analog In」を選ぶ

INPUTボタンをくり返し押して、「Analog In」を表示させます。

ご注意

入力が「Digital In 1」または「Digital In 2」になっていると、シンクロ録音できません。

2 動作モードを確認する

25ページの手順***4*** を参考に動作モードを確認してください。

3 録音モードを選ぶ

REC MODEボタンを押して録音モードを選びます。ボタンを押すごとに録音モードが切り換わります。
25ページの手順***5*** を参考に録音モードを選んでください。

4 本機を録音待機状態にする

●RECボタンを押します。

5 テープデッキを再生する

(テープデッキ)

本機が録音状態になりテープデッキからの信号を録音します。
録音レベルが適当でないときは、28ページの手順***8*** を参考にして録音レベルを調整してください。
テープデッキの再生のしかたについてはテープデッキの取扱説明書をご覧ください。
シンクロ録音をやめるには、テープデッキの再生を停止します。本機は録音待機状態になります。

シグナルシンクロ録音

ポータブルMDプレーヤーやRI端子のない製品、他社製品と組み合わせて、シンクロ録音することができます。

1 入力を選ぶ

INPUTボタンをくり返し押して、「Digital In 1」、「Digital In 2」または「Analog In」のいずれかを表示させます。
デジタル入力・アナログ入力のどちらでも、シグナルシンクロ録音ができます。

2 動作モードを確認する

25ページの手順***4*** を参考に動作モードを確認してください。

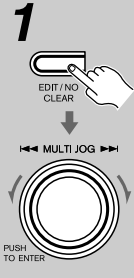
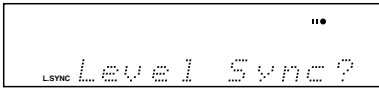
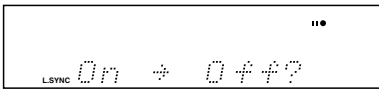
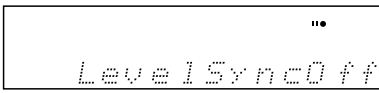
3 録音モードを選ぶ

REC MODEボタンを押して録音モードを選びます。ボタンを押すごとに録音モードが切り換わります。
25ページの手順***5*** を参考に録音モードを選んでください。

4 「Signal Rec」と表示させる

●RECボタンを押して、表示部に時間表示（0：00）が点灯したら、もう一度●RECボタンを押します。
「Signal Rec」が表示されます。
本機は入力信号待ち状態になり「Signal wait」と「時間表示」が交互に表示されます。

5 録音が始まる

「Signal wait」と「時間表示」を交互に表示している間に手順***1*** で選んだ入力に録音ソースから信号が入ってくると、録音が開始されます。
録音レベルが適当でないときは、28ページの手順***8*** を参考にして録音レベルを調整してください。

録音時の機能について

レベルシンク機能

レベルシンク機能とは、入力レベルの立ち上がりで自動的に曲番をつける機能です。
CDからのデジタル入力録音時は、レベルシンクのオン/オフに関係なく、自動的に曲番がつきます。（お買い上げ時の設定ではレベルシンクオン（曲番をつける）に設定されています。）

■曲番をつけたくないときは

録音中または録音待機中に下記の操作をします。

1

EDIT/NO/CLEARボタンを押した後、MULTI JOGダイヤルを回して「Level Sync?」を表示させる

L.SYNC Level Sync?

2

MULTI JOGダイヤルを押す

現在の設定が表示されます。（この場合は「On→Off」で、オンからオフにしますか？の意味）

L.SYNC On → Off?

3

MULTI JOGダイヤルを押す

Level Sync Off

「Level Sync Off」の表示が現れ、表示部のL.SYNC表示が消灯します。録音中曲が変わっても曲番はつきません。
好きなところで曲番をつけたいときは、●RECボタンを押します。（ただし、あまりボタンを押す間隔が短いと、曲番がつかないことがあります。）
- この設定を途中で止めたいときは、EDIT/NO/CLEARボタンを押します。

！ヒント

リモコンのEDIT/NO/CLEARボタン、|◀◀/▶▶|ボタン、ENTERボタンでも操作することができます。

■曲番をつける設定に戻すときは

上記と同じ操作をします。手順**2**で「Off→On」と表示されるので、手順**3**でMULTI JOGダイヤルを押すと「Level Sync On」の表示が現れ、曲番が自動的に付くようになります。表示部のL.SYNC表示が点灯します。

録音オートストップ機能

録音オートストップ機能とはレベルシンクをオンに設定しておくと、録音ソースからの信号（深夜のラジオ番組など）が停止（終了）してから、約1分後に録音が自動的に停止する機能です。
信号停止後の録音をしたくないときは、この機能を使うと便利です。レベルシンクをオフに設定すると録音オートストップ機能は働きません。

ご注意

- CDを録音する際など、そのCDに1分以上の無音部分がある場合にも録音オートストップ機能は働きますので、録音が途中で停止します。このようなCDなどを録音する場合は、レベルシンクをオフに設定してください。
- CDダビング時には、録音オートストップ機能は働きません。

録音結果を確かめるには

- 録音を止めたあと、本体の▶/‖ボタンを押すと、現在録音した曲番が再生されます。
- ディスクの始めから再生するには、録音を止めたあと、もう一度■ボタンを押してから本体の▶/‖ボタンまたはリモコンの▶ボタンを押してください。

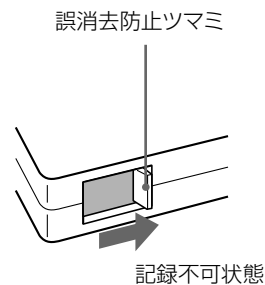
停電時のご注意

録音した内容をディスクに記録する前（TOC表示点灯）、または記録中（TOC表示点滅中）に誤ってコンセントを抜いてしまったり停電が起きた場合は、停電前の記録内容は保持されません。

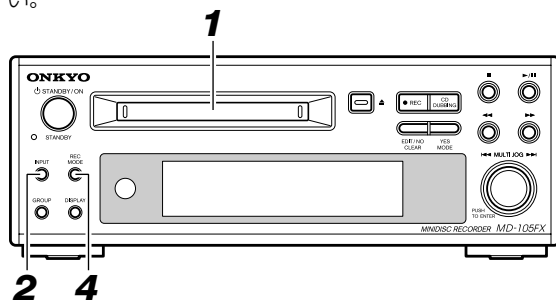
録音した内容を誤って消さないために

録音を禁止するには、ディスクの誤消去防止ツマミをずらして、孔を開いた状態にします。（記録不可状態）
再び録音するには、ツマミを元に戻します。

誤消去防止ツマミ

記録不可状態

タイマー再生と録音（システム操作）

タイマー再生やタイマー録音をするには

INTEC205シリーズのアンプやAVセンター、チューナーとシステム接続するとタイマー動作ができます。タイマーセットの方法は、チューナーの取扱説明書をご覧ください。

1

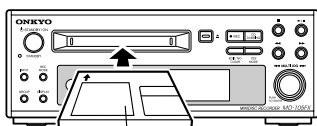
再生用または録音用ディスクを入れる

再生のときは手順***5*** に進みます。

ラベル面を上に
矢印の方向に差し込む

2

INPUT

録音する場合は、「Analog（アナログ） In（イン）」を選ぶ

INPUT（インプット）ボタンをくり返し押して、「Analog In」を表示させます。

録音する場合は、アナログ入力に設定してください。

必ず常時通電しているコンセントに接続してください。アンプ後面に付いている電源コンセントに接続した場合は、アンプやAVセンターのPOWER（パワー）スイッチを切らないでください。

3

録音する場合は、動作モードを確認する

25ページの手順***4*** を参考に動作モードを確認してください。

4

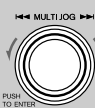
REC MODE

録音する場合は、録音モードを選ぶ

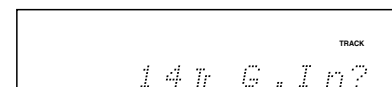
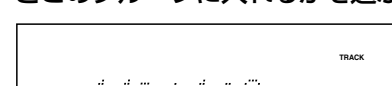
REC（レック） MODE（モード）ボタンをくり返し押して、録音モードを選びます。

25ページの手順***5*** を参考に録音モードを選んでください。

5

チューナーのタイマーを設定する

グループ機能（グループを作成/解除する）

1枚のMDに入っている曲を好みのグループに分けることができます。MDLPなどを使用して、たくさんの曲が入っているディスクで使用すると便利です。

- グループにできるのは連続した曲です。（例：1曲目〜15曲目）
- あとからグループに曲を追加することができます。
- 1つの曲を複数のグループに入れることはできません。
- 本機でグループを作成したMDをグループ機能が備わっていない機器で再生するとディスクネームが正しく表示されません。
- グループを作成したMDをグループ機能が備わっていない機器で編集しないでください。

グループセット　停止中

グループに入っていない曲をまとめて新規のグループに入れます。

1 MULTI JOG（マルチ ジョグ）ダイヤルを回して、グループに入れる最初の曲を選ぶ

2 EDIT/NO/CLEAR（エディット ノー クリア）ボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「○○Tr G. Set（トラックグループ セット）」を表示させる

3 MULTI JOGダイヤルを押す

4 MULTI JOGダイヤルを回して、グループに入れる最後の曲を選ぶ

TRACK
1Tr-8Tr?

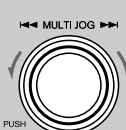
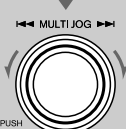
5 MULTI JOGダイヤルを押す

「Complete（コンプリート）」が表示され、グループが作成されます。

！ヒント

リモコンのEDIT/NO/CLEARボタン、|◀◀/▶▶|ボタン、ENTER（エンター）ボタンでも操作することができます。

グループイン　停止中

グループに入っていない曲を、すでにあるグループに入れます。

1 MULTI JOGダイヤルを回して、グループに入れる曲を選ぶ

2 EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「○○Tr G. In（トラックグループイン）」を表示させる

TRACK
14Tr G.In?

3 MULTI JOGダイヤルを押す

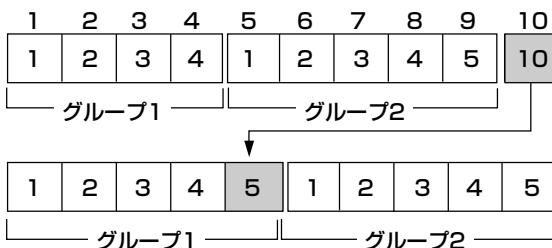
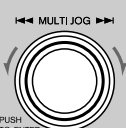
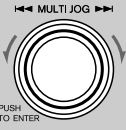
4 MULTI JOGダイヤルを回して、どこのグループに入れるかを選ぶ

TRACK
14Tr→1G?

5 MULTI JOGダイヤルを押す

「Complete」が表示され、選んだグループの最後に入ります。

！ヒント

リモコンのEDIT/NO/CLEARボタン、|◀◀/▶▶|ボタン、ENTERボタンでも操作することができます。

グループ機能（グループを作成/解除する）

グループアウト 停止中

すでにグループに入っている曲をグループから外します。

1

MULTI JOG（マルチ ジョグ）ダイヤルを回して、グループから外す曲を選ぶ

2

EDIT/NO/CLEAR（エディット ノー クリア）ボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「○○Tr G.Out（トラックグループアウト）」を表示させる

3

MULTI JOGダイヤルを押す

「Complete（コンプリート）」が表示され、選んだ曲がグループから外れます。

選択グループの解除 停止中

選んだグループのみ解除します。

1

GROUP（グループ）ボタンを押す

2

MULTI JOGダイヤルを回して、解除するグループを選ぶ

3

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「○○ Release（リリース）?」を表示させる

4

MULTI JOGダイヤルを押す

「Complete」が表示され、選んだグループのみ解除されます。

グループ機能（グループを再生する）

グループと曲番について

ディスクに収録されている曲は、１曲目から順番に2、3、…と曲番がついています。ただし、グループを作成した場合、そのグループ内で1、2、3、…と曲番がつき、再生中や曲を選択しているきも、その曲番が表示されます。

例）

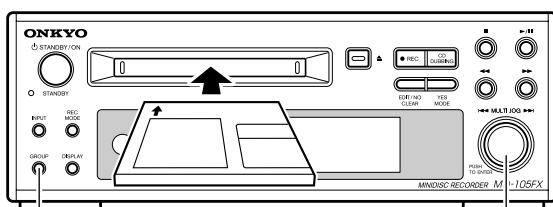
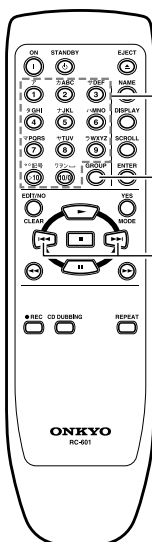
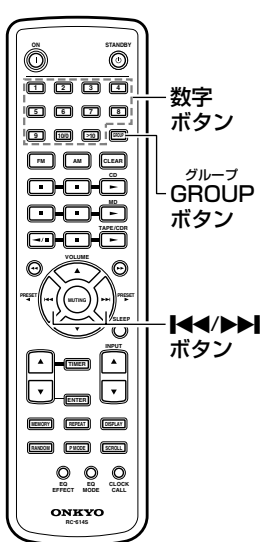
グループのないときに表示される曲番

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

3曲目から6曲目までをグループ1に入れたときに表示される曲番

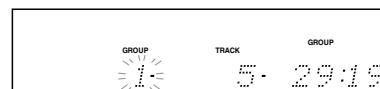
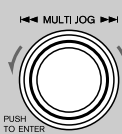
		グループ１							
1	2	1	2	3	4	7	8	9	10

グループの中の曲を選ぶ

ディスクにグループを作成しておく必要があります。
(☞35ページ)

本機に付属の
リモコン
(RC-601)

A-905FX(アンプ)
に付属のリモコン
(RC-614S)

1 グループ
GROUPボタンを押す

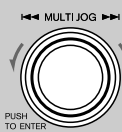
GROUP

GROUP　TRACK　GROUP
1　5　29:19

2 グループ番号を選ぶ

本体ではマルチMULTI ジョグJOGダイヤルを回してグループ番号を選びます。

リモコンでは

⏮/⏭ボタンを押してグループ番号を選びます。

3 GROUPボタンを押す

4 グループの中の曲を選ぶ

MULTI JOGダイヤルを回してグループの中の曲番を選びます。

リモコンでは

⏮/⏭ボタンを押してグループの中の曲番を選びます。

！ヒント

リモコンの数字ボタンで以下のようにグループ/曲番を選ぶこともできます。この場合、数字ボタンを押すと、選んだグループ/曲の再生が始まります。

10グループを選ぶ　

１１以上のグループを選ぶときは、総グループ数により、次のようになります。

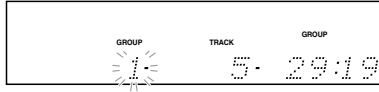
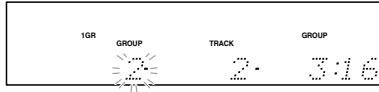
例：25グループを選ぶ

〔>10〕、〔2〕、〔5〕（総グループ数が99グループ以下）

〔>10〕、〔10/0〕、〔2〕、〔5〕（総グループ数が100グループ以上）

例：125グループを選ぶ

〔>10〕、〔1〕、〔2〕、〔5〕

曲番の選びかたについては、19ページ「ダイレクト再生」をご覧ください。

グループ再生

選択したグループから最後までを再生します。

1

GROUP（グループ）ボタンを押す

2

MULTI JOG（マルチ ジョグ）ダイヤルを回して、再生したいグループを選ぶ

リモコンでは数字ボタンでグループ番号を選びます。

リモコンでグループ番号を選ぶには：
グループ番号の選びかたについては、19ページ「ダイレクト再生」の曲番の選びかたと同様です。

3

MULTI JOGダイヤルを押す

再生が始まります。

！ヒント

リモコンのGROUP（グループ）ボタン、数字ボタンでも操作することができます。

1グループ再生　停止中

選択したグループのみ再生します。

1

GROUPボタンを押す

2

MULTI JOGダイヤルを回して、グループを選ぶ

3

YES/MODE（イエス/モード）ボタンを（くり返し）押して、「1GR（ワングループ）」モードを選ぶ

4

MULTI JOGダイヤルを押す

再生が始まります。

- 再生が終わると、MD1グループ再生モードは解除されます。

！ヒント

リモコンのGROUPボタン、⏮/⏭ボタン、YES/MODEボタン、▶（プレイ）ボタンでも操作することができます。

グループスキップ

再生中、グループごとにスキップをすることができます。

1

再生中にGROUPボタンを押す

2

MULTI JOGダイヤルを回して、グループを選ぶ

選んだグループの最初のトラックから再生が始まります。

！ヒント

リモコンのGROUPボタン、⏮/⏭ボタンでも操作することができます。

グループ機能（グループを編集/消去する）

グループを移動してグループを入れ換える、2つのグループをまとめて1つにする、グループ内の曲を消去する、の3つの基本機能があります。

編集/消去機能の紹介

グループを消去する－G.Erase
指定したグループに含まれる曲を全て消去します。

グループを移動する－G.Move
グループを移動する機能です。

グループをつなぐ－G.Combine
前のグループとつなぎ1つのグループにまとめる機能です。

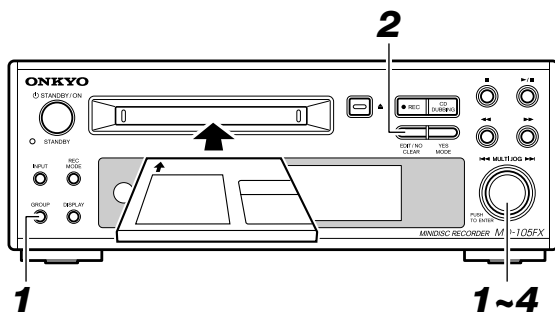
編集の組み合わせ

離れた2つのグループをつなぐ
（G.Move＋G.Combine）
G.Combineは選んだグループと直前のグループをつなぐ機能です。離れた2つのグループをつなぐときは、G.Move機能でグループを移動したあとに、G.Combine機能を使います。

編集/消去についてのご注意

- 編集/消去の情報は、MDを取り出すとき、スタンバイ状態になるときなどにMDの目次部分（TOC）に書き込まれます。TOC表示が点灯、点滅しているときは、電源コードを抜いたり、本体を揺らしたりしないでください。（☞「TOC表示が点灯しているとき」、「TOC表示が点滅しているとき」、53ページ）
- MEM（メモリー）または、RDM（ランダム）、1GR表示が点灯しているときは編集できません。通常の再生モード（NORMAL表示点灯）にしてください。

指定したグループ内の曲を消す－G.Erase 停止中

途中で中止するときは、■ボタンを押します。

1 GROUPボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して消すグループを選ぶ

選択したグループが点滅します。

2 EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Erase?」を表示する

3 MULTI JOGダイヤルを押す

再確認のため「Erase??」（本当に消していいですか？）が表示されます。

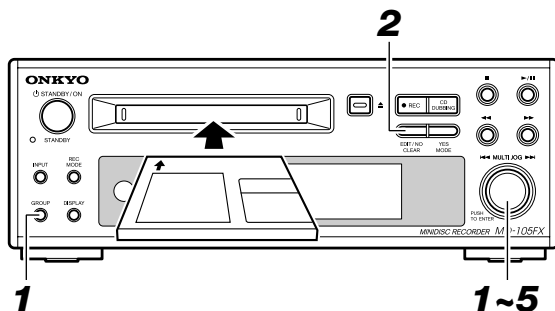
4 MULTI JOGダイヤルを押す

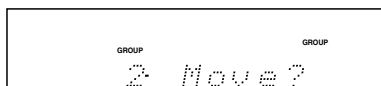
グループ内の曲が消され、「Complete」（完了）が表示されます。
グループ番号は新たにふり直されます。

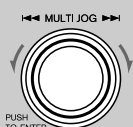
！ヒント

リモコンのGROUPボタン、⏮/⏭ボタン、EDIT/NO/CLEARボタン、ENTERボタンでも操作することができます。

グループを移動する－G.Move 停止中

途中で中止するときは、■ボタンを押します。

1 GROUPボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して移動するグループを選ぶ

2 EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Move?」を表示する

3 MULTI JOGダイヤルを押す

移動するグループ番号と移動先のグループ番号が表示されます。

4 必要なときは、MULTI JOGダイヤルを回して移動先のグループ番号を変える

5 MULTI JOGダイヤルを押す

指定した曲が移動し、「Complete」（完了）が表示されます。
グループ番号は新たにふり直されます。

グループの移動

グループ番号のふり直し

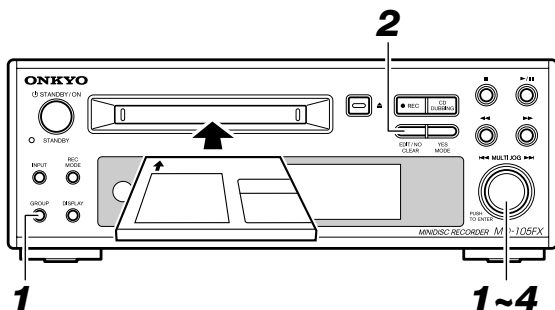
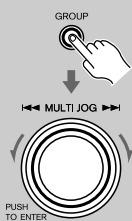
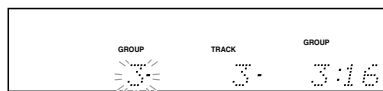
！ヒント

リモコンのGROUPボタン、|◀◀/▶▶|ボタン、EDIT/NO/CLEARボタン、ENTERボタンでも操作することができます。

グループをつなぐ ―G.Combine

停止中

- 前のグループにグループ名がついている場合、そのグループ名がCombine後のグループ名になります。
- 途中で中止するときは、■ボタンを押します。

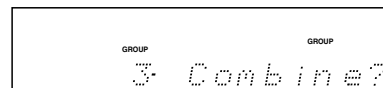
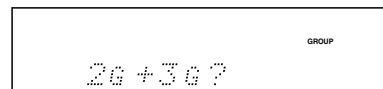
1

GROUPボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回してつなぐグループを選ぶ

選んだグループが、1つ前のグループとつながることになります。したがって、最初のグループは選ぶことはできません。

2

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して、「Combine?」を表示する

3

MULTI JOGダイヤルを押す

GROUP
2G+3G?

選んだグループの番号と、その直前のグループ番号が表示されます。

4

MULTI JOGダイヤルを押す

グループがつながり、「Complete」（完了）が表示されます。
グループ番号は新たにふり直されます。

！ヒント

リモコンのEDIT/NO/CLEARボタン、◀◀/▶▶ボタン、ENTERボタンでも操作することができます。

編集/消去する

曲を移動して曲番を入れ換える、1つの曲を2つに分ける、2つの曲をまとめて1つにする、曲を消去する、MDの録音すべてを消去する、の5つの基本機能があります。

編集/消去機能の紹介

全曲消去する－All Erase
MDに記録されているすべての曲とタイトルを消去します。（BLANK DISCになります。）

曲を消去する－Erase
1曲選んで消去する機能です。

曲を移動する－Move
1曲選んで移動する機能です。

曲を分ける－Divide
1曲を2つに分ける機能です。

曲をつなぐ－Combine
1曲選び、その1つ前の曲とつないで1曲にまとめる機能です。

編集/消去機能の組み合わせ

曲の一部を消去する
（Divide ＋ Erase）
消去したい部分をDivide機能で（またはこの機能をくり返して）分けてから、Erase機能で消去します。

離れた2つの曲をつなぐ
（Move ＋ Combine）
Combineは、選んだ曲と直前の曲をつなぐ機能です。離れた2つの曲をつなぐときは、Move機能で曲を移動したあとに、Combine機能を使います。

曲をつなぐ－Combineについてのご注意

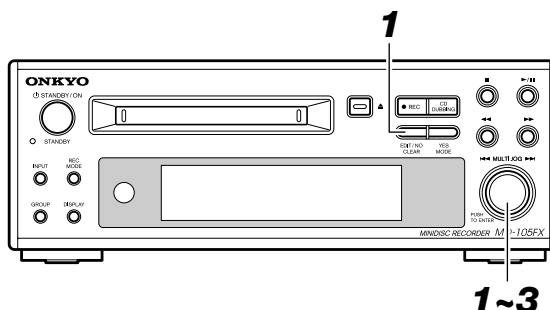
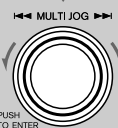
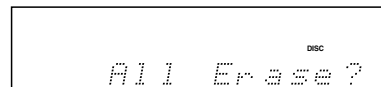
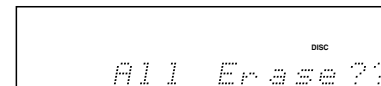
Combineは同じ録音モードで録音された曲のみ可能です。
例：MONOモードで録音した曲とLP2モードで録音した曲をつなぐことはできません）
デジタル録音で録音した曲と、アナログ録音で録音した曲をつなぐことはできません。

編集／消去についてのご注意

- 編集/消去の情報は、MDを取り出すとき、スタンバイ状態になるときなどにMDの目次部分（TOC）に書き込まれます。TOC表示が点灯、点滅しているときは、電源コードを抜いたり、本体を揺らしたりしないでください。（☞「TOC表示が点灯しているとき」、「TOC表示が点滅しているとき」、53ページ）
- MEM（メモリー）または、RDM（ランダム）、1GR表示が点灯しているときは編集できません。
  通常の再生モード（NORMAL表示点灯）にしてください。
- グループ作成されたMDの曲を編集すると、グループ情報が変わることがあります。

全曲消去する－All Erase

停止中

途中で中止するときは、■ボタンを押します。

1 EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「All Erase?」（MDの録音をすべて消しますか?）を表示する

2 MULTI JOGダイヤルを押す

再確認のため、「All Erase??」（本当に消去していいですか？）が表示されます。

3 MULTI JOGダイヤルを押す

曲が消され、「Complete」（完了）が表示されます。

！ヒント

リモコンのEDIT/NO/CLEARボタン、|◀◀/▶▶|ボタン、ENTERボタンでも操作することができます。

1曲選んで消す－Erase

停止中/一時停止中

途中で中止するときは、■ボタンを押します。

1

MULTI JOGダイヤルを回して消す曲を選ぶ

2

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Erase?」を表示する

3

MULTI JOGダイヤルを押す

曲が消され、「Complete」（完了）が表示されます。
曲番は新たにふり直されます。

！ヒント

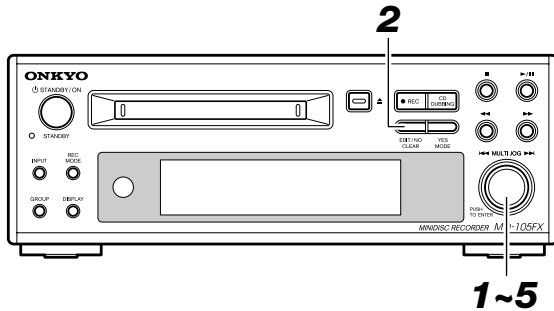
リモコンの⏮/⏭ボタン、EDIT/NO/CLEARボタン、ENTERボタンでも操作することができます。

編集/消去する

曲を移動する−Move

停止中/一時停止中

- グループ内の曲を同じグループ内で移動することができます。
- グループに入っていない曲を任意のグループに移動することができます。
- グループ内の曲を他のグループに移動することはできません。

途中で中止するときは、■ボタンを押します。

1

MULTI JOGダイヤルを回して移動する曲を選ぶ

2

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Move?」を表示する

3

MULTI JOGダイヤルを押す

移動する曲番と移動先の曲番が表示されます。

4

必要なときは、MULTI JOGダイヤルを回して移動先の曲番を変える

5

MULTI JOGダイヤルを押す

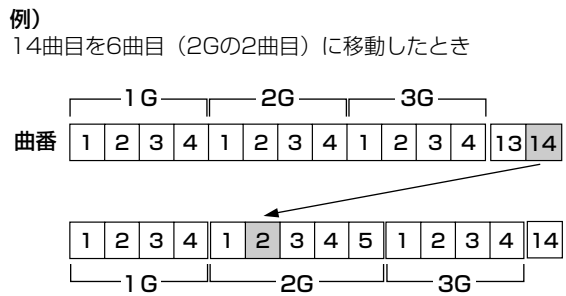
指定した曲が移動し、「Complete」（完了）が表示されます。
曲番は新たにふり直されます。

曲の移動

曲番のふり直し

！ヒント

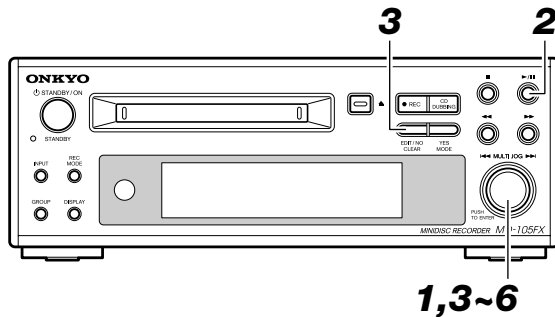
リモコンの|◀◀/▶▶|ボタン、EDIT/NO/CLEARボタン、ENTERボタンでも操作することができます。

例）
14曲目を6曲目（2Gの2曲目）に移動したとき

14曲目が2Gの2曲目になり、2Gは全部で5曲になります。

曲を分ける－Divide

再生中/一時停止中

- 曲名がついているとき（☞47ページ）は、前の曲にのみ名前が残ります。
- 途中で中止するときは、■ボタンを押します。

1

MULTI JOGダイヤルを回してから押し、分ける曲を再生する

2

►/❚❚

分けたいところで►/❚❚ボタンを押す

一時停止になります。

◀◀/▶▶ボタンで早戻し/早送りができます。

3

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Divide？」を表示する

TRACK

2TrDivide?

4

MULTI JOGダイヤルを押す

分かれる位置

「Rehearsal」（確認再生中）と「Position OK?」（分けてもいいですか?）が交互に表示され、曲が分かれる位置より約4秒間がくり返し再生されます。

5

音声を聞きながらMULTI JOGダイヤルを回し、分ける位置の微調整をする

その曲内で数値−45〜+45（REC MODEがSP時 ± 約3秒）の間で調整できます。

Rehearsal 再生
約４秒間

分かれる位置　±45 ステップ

分かれる位置が微調整で前後に移動します。

6

MULTI JOG
PUSH TO ENTER

MULTI JOGダイヤルを押す

曲が2つに分かれ、「Complete」（完了）が表示されます。

曲番は新たにふり直されます。

曲の分割

曲番のふり直し

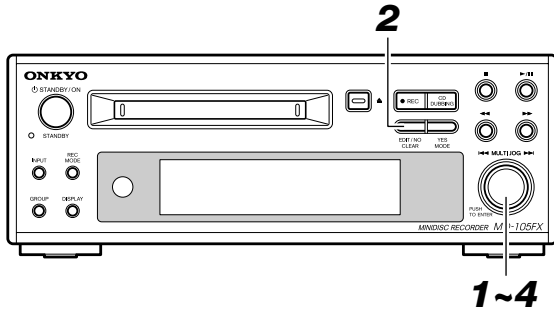
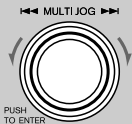
！ヒント

リモコンの数字ボタン、EDIT/NO/CLEARボタン、◀◀/▶▶ボタン、ENTERボタンでも操作することができます。

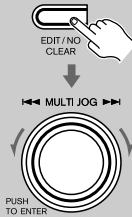
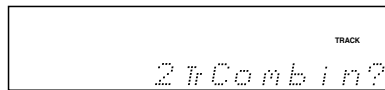
編集/消去する

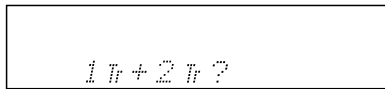
曲をつなぐ −Combine(コンバイン)

停止中/再生中/一時停止中

- 前の曲に曲名がついている場合、その曲名がCombine後の曲名になります。
- 途中で中止するときは、■(ストップ)ボタンを押します。

1 MULTI(マルチ) JOG(ジョグ)ダイヤルを回してつなぐ曲を選ぶ

選んだ曲が、1つ前の曲とつながることになります。したがって、1曲目は選ぶことはできません。

2 EDIT(エディット)/NO(ノー)/CLEAR(クリア)ボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Combin?(コンバイン)」を表示する

3 MULTI JOGダイヤルを押す

選んだ曲の番号と、その直前の曲番が表示されます。

4 MULTI JOGダイヤルを押す

曲がつながり、「Complete(コンプリート)」(完了)が表示されます。

曲番は新たにふり直されます。

!ヒント

リモコンの⏮/⏭ボタン、EDIT/NO/CLEARボタン、ENTER(エンター)ボタンでも操作することができます。

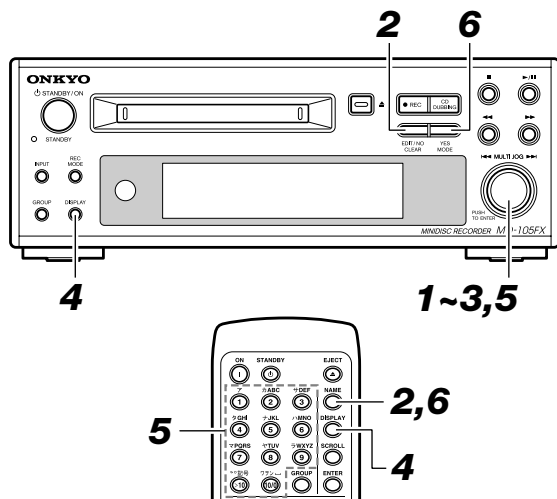
ご注意

- 異なるグループに入っている曲とつなぐことはできません。たとえば、1グループの最後の曲と2グループの最初の曲をつなぐことはできません。
- 下表のように1曲の時間が短いと、曲をつなげないことがあります。

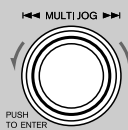
MDモード	曲の長さ
SPモード LP2/Monoモード LP4モード	12秒以下 24秒以下 48秒以下
Hi-MDモード	
PCMモード Hi-SPモード Hi-LPモード	9秒以下 8秒以下 32秒以下

ネームをつける

曲名やディスク名をつける（Name In機能）

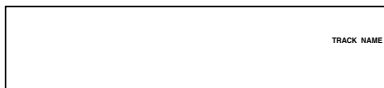
MDにディスク名、曲名、グループ名、アーティスト名、アルバム名をつけることができます。

ご注意

- 曲に名前をつけたいときは、録音中、再生中にもつけることができます。次の曲に移ってしまうと、文字入力が正しくできない場合があります。グループ名は録音中にはつけられません。
- MEM、RDM、1GRの表示が点灯している場合は、ディスク名はつけることができません。

1

ディスク名をつけるとき：

■ボタンを押して停止状態にし、曲が選ばれていない状態にします。

曲名をつけるとき：

■ボタンを押して停止状態にし、MULTI JOGダイヤルを回して名前をつけたい曲を選択します。
再生中、録音中は、DISPLAYボタンをくり返し押して表示部に曲名（TRACK NAMEが点灯）が表示されている状態にします。

グループ名をつけるとき：

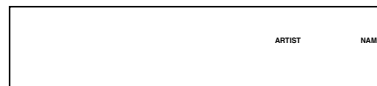
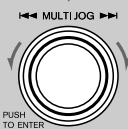
■ボタンを押して停止状態にし、GROUPボタンを押してMULTI JOGダイヤルを回し、名前をつけたいグループを選択します。
再生中は、DISPLAYボタンをくり返し押して表示部に曲名（GROUP NAMEが点灯）が表示されている状態にします。

動作モードがHi-MDモードのとき

アーティスト名/アルバム名（Hi-MDモードのみ）：

■ボタンを押して停止状態にします。または、再生中、録音中に、DISPLAYボタンをくり返し押して表示部にアーティスト名（ARTIST NAME表示が点灯）/アルバム名（ALBUM NAME表示が点灯）が表示されている状態にします。

2 「Name In?」と表示させる

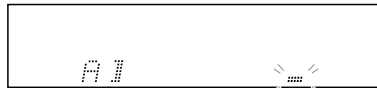
本体
または
NAME
リモコン
(RC-601)

EDIT/NO/CLEARボタンを押した後、MULTI JOGダイヤルを回して「Name In?」と表示させます。

リモコン(RC-601)では

NAMEボタンを押します。
表示部にカーソルが点滅します。

「Name In」を中止するには

EDIT/NO/CLEARボタンまたは、■ボタンを押します。

3 MULTI JOGダイヤルを押す

カーソルが点滅します。

カーソル点滅中に「Name In」を中止するには

■ボタンを押します。

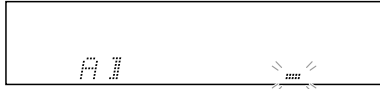
4

DISPLAY
リモコン (RC-601)

入力したい文字の種類を選ぶ

DISPLAYボタンを押すたびに、入力する文字の種類が次のように切り換わります。

ボタンを押すたびに文字の種類が切り換わります。SCROLLボタンを押すと逆順に切り換わります。

アルファベット大文字(表示：A)→アルファベット小文字(表示：a)→英数字記号(表示：1)→カタカナ(表示：ア)→カンタンネーム(表示：♪)

一度に入力できる文字数は、文字の種類によりますが最高100文字までです。

リモコン（RC-601）では
DISPLAYボタンを押して表示を切り換えます。

入力できる文字の種類
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
_ @ ` ＜ ＞ # ＄ % ＆ ＊ ＝ ； ： ＋ － ／ （ ） ？ ！ ’ ” ， ． ␣（空白） ⁞（挿入）
ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ヲ ン
ァ ィ ゥ ェ ォ ャ ュ ョ ッ ゛ ゜

カンタンネームについて
以下のようなネームが用意されています。文字を選ぶのと同じ要領で下記の中から選んでください。

［カンタンネーム表示］

5

本体

1 2 3 4 5 6 7 8 9 >10 10/0
リモコン (RC-601)

ネームを入力する

MULTI JOGダイヤルを回して文字を選び、MULTI JOGダイヤルを押して決定します。2文字目以降も続けてMULTI JOGダイヤルで選びます。

文字の種類を変更して入力するには
手順***4*** に戻って文字の種類を変更してから、MULTI JOGダイヤルを回して文字を選び、MULTI JOGダイヤルを押して決定します。

リモコン(RC-601)では
- 数字(1～9、0は10/0で入力)、アルファベットの大文字と小文字、カタカナ、記号(ボタンの上に書かれているもの)が直接入力できます。
  リモコンの|◀◀、▶▶|ボタンを押して文字を選ぶこともできます。ENTERボタンか▶▶ボタンで入力します。

文字を修正するには： ◀◀または▶▶ボタンを押して間違えた文字を点滅させ、改めて入力します。
文字を挿入するには： ◀◀または▶▶ボタンを押して挿入する位置を点滅させます。
次にMULTI JOGダイヤルを左へ回して⁞を点滅させ、そのまま押すとカーソルが点滅しますので改めて文字を入力します。
文字を削除するには： ◀◀または▶▶ボタンを押して削除する位置を点滅させ、EDIT/NO/CLEARボタンまたはリモコン（RC-601）のEDIT/NO/CLEARボタンを押します。

6

本体

または

NAME

リモコン
(RC-601)

入力を終了する

YES/MODE（イエス/モード）ボタンを押します。

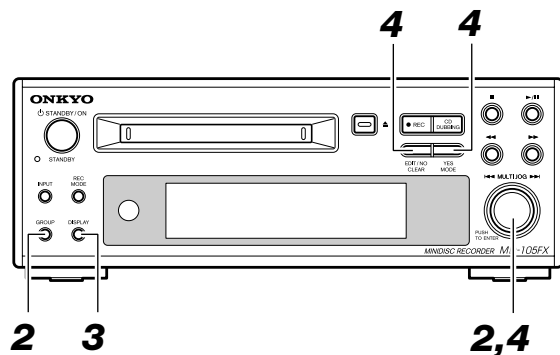
リモコン(RC-601)では

NAME（ネーム）ボタンを押します。

▲（イジェクト）ボタンやSTANDBY/ON（スタンバイ/オン）ボタンを押して、TOC（トック）表示が点滅しているときは、入力したネームをディスクに記録中です。この間は、電源プラグを抜いたり、本機を強くゆらしたりしないでください。正しく記録されないことがあります。

ネームをつける

同じ名前をつける（Name Copy機能）

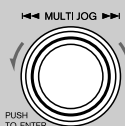
入力した名前と同じ名前をつけるときに便利です。
ネームコピーできるのは、ディスク名、曲名、グループ名、アーティスト名、アルバム名です。

1

名前をつける

47ページ「曲名やディスク名をつける」を参考にディスク名、曲名、グループ名、アーティスト名、アルバム名をつけます。

2

または

手順*1* でつけた名前と同じ名前をつけたい曲/グループを選ぶ

MULTI JOGダイヤルを回して曲を選びます。または、GROUPボタンを押してMULTI JOGダイヤルを回してグループを選びます。

3

DISPLAYボタンをくり返し押して表示を切り換える

つけたい名前の表示にします。

ディスク名：DISC NAME点灯
曲名：TRACK NAME点灯
グループ名：GROUP NAME点灯
アーティスト名：ARTIST NAME点灯
アルバム名：ALBUM NAME点灯

4

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Name Copy?」を選び、YES/MODEボタンを押す

手順***1*** でつけた名前と同じ名前が選んだ曲/グループにコピーされます。
ネームコピーされるのは、最後に入力された名前です。曲名、グループ名、アーティスト名、アルバム名は、別々に記憶されます。

！ヒント

リモコンのDISPLAYボタン、EDIT/NO/CLEARボタン、⏮/⏭ボタン、ENTERボタンでも操作することができます。

ディスクを初期化する（Disc Format機能）

- 従来の80/74/60分ディスクをHi-MDモードで使いたいとき、またはMDモードに戻したいときにこの操作を行います。
- Hi-MD規格専用1GBディスクは、初期化する必要はありません。

ご注意

ディスクを初期化すると、音楽データおよびそれ以外のデータ（文書や画像データなど）も含めてすべてのデータが消去されます。

1

初期化したいディスクを挿入し、停止状態にする

2

EDIT/NO/CLEARボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Disc Format?」を選び、MULTI JOGダイヤルを押す

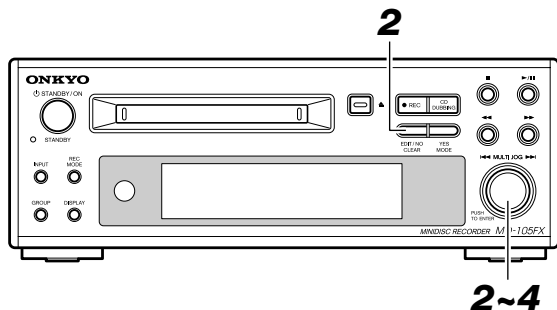
ご注意

ディスクを初期化すると、音楽データおよびそれ以外のデータ（文書や画像データなど）も含めてすべてのデータが消去されます。

3

MULTI JOGダイヤルを回して「MD Format?」または「Hi-MD Format?」を選ぶ

MDモードで初期化したいときは、「MD Format?」を表示させ、Hi-MDモードで初期化したいときは、「Hi-MD Format?」を表示させます。

4

MULTI JOGダイヤルを押す

「Format OK?」と表示され、フォーマットが始まります。

ご注意

- MDモードにすると、そのディスクはMDモードになり、再度初期化しない限り、Hi-MDモードにはなりません。
- Hi-MDモードにすると、そのディスクはHi-MDモードになり、再度初期化しない限り、MDモードにはなりません。また、Hi-MD非対応機器で再生することはできません。

！ヒント

リモコンのEDIT/NO/CLEARボタン、⏮/⏭ボタン、ENTERボタンでも操作することができます。

MDについて

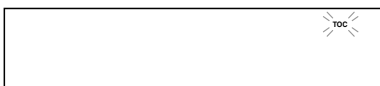
MDについて

MDには再生専用と、録音用の2種類があります。
録音用MDで途中まで録音してあるMDに追加して録音する場合、最後の曲のあとに録音されます。曲番も最後の曲番のあとから順についていきます。
録音をしたり、名前をつけたり、編集した情報はMDの目次部分（TOC＝Table Of Contents）に書き込まれます。

TOC表示が点灯しているとき（録音中や名前をつけたときなど）

MDのTOCに書き込む情報が本体のメモリーに保存されている状態です。

TOC表示が点滅しているとき（録音停止時やディスクを取り出すときなど）

MDに情報を書き込んでいる最中です。
書き込みには最長で90秒かかることがあります。

この状態のときは、電源プラグを抜いたり、揺らしたりしないでください。停電になった場合は停電前の記録内容は消去されます。

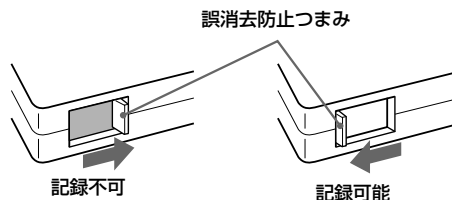
シリアルコピーマネージメントシステム
デジタル入力で録音したMDをさらにデジタル入力録音することはできません。本機はシリアルコピーマネージメントシステムの規格に準拠したデジタルオーディオ機器です。この規格は、各種デジタルAV機器の間で、デジタル信号どうしのコピーを「1回だけ」と規制したもので、3つの原則があります。

原則1
CDまたはDAT、MDからMDへ「デジタル入力録音」できます。ただし、1度「デジタル入力録音」したものを他のMDへ「デジタル信号のままデジタル入力録音」できません。

原則2
アナログレコードやFM放送などをアナログ入力録音したMDから、他のMDへ「デジタル入力録音」できます。ただし、1度「デジタル入力録音」したMDから、他のMDへ「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できません。MDレコーダーどうしをアナログ入出力端子につないだときは、何回でも録音できます。

原則3
DATデッキまたは32kHz、48kHzのサンプリング周波数に対応するMDレコーダーの場合、衛星放送のデジタル音声信号も「デジタル入力録音」できます。
この場合は、2回目も「デジタル入力録音」できます。ただし、BSチューナー（衛星放送受信機）によっては、2回目のデジタル入力録音ができない場合があります。

MDの誤消去防止について

録音用のMDには録音した内容を誤って消さないための誤消去防止つまみがあります。録音を禁止するときは、MDの誤消去防止つまみをずらして、図のように孔が開いた状態にします（記録不可状態）。

MDに録音するときや名前をつけるなどの編集を行うときは、録音用のMDを使用し、記録不可状態を解除しておいてください。

MDの取り扱いについて

MDはカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えます。しかし、カートリッジの汚れやそりなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。

内部のディスクに直接触れないでください

ディスクのシャッターを手で開けないでください。無理に開けるとこわれます。

置き場所について

直射日光が当たる所など高温の場所や湿度の高い場所、ほこりの多いところ、風通しの悪いところ、大型のエアコンやチカチカする古い蛍光灯など大きな電源ノイズを発生する機器のそばには置かないでください。

長時間使用しないときは

MDが本機の中に入っているときは、ディスクのシャッターが開いた状態になっています。長時間使用しないときは、内部のディスクにほこりがつくのを防ぐため、MDを本機から取り出しておいてください。

定期的にお手入れを

カートリッジ表面についたほこりやごみを乾いた布でふき取ってください。

お知らせ

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
お問い合わせ先：
（社）私的録音補償金管理協会
Tel. 03-5353-0336
Fax. 03-5353-0337

MDについて

Hi-MDについて

Hi-MDとはミニディスクの新しいフォーマットです。
従来のミニディスクから、ディスクの記録方式を変え、さらに長時間の録音を可能にしました。
従来のオーディオ圧縮技術ATRAC3を更に発展させたATRAC3Plusにより長時間録音を可能にしました。従来はATRAC3（本機のLP2/LP4）の圧縮率が、CDの1/10だったのに対し、ATRAC3plus（本機のHi-SP/Hi-LPステレオモード）はCDをベースに比較すると、1/20という高圧縮率かつ高音質を実現しています。

Hi-MDモードとMDモード
本機には「Hi-MDモード」と「MDモード」の2つの動作モードがあります。この動作モードは挿入されたディスクにより自動的に切り換わります。
「Hi-MDモード」のときは、従来よりも長時間録音ができます。また、リニアPCM（デジタル圧縮しない音声記録方式）でCDと同じ音質で録音することもできます。

録音時間

動作モード	録音モード	コーデック/ビットレート	ディスクの種類			
			Hi-MD規格専用1GB	80分	74分	60分
Hi-MDモード	PCM	リニアPCM/1.4Mbps	約1時間34分	約28分	約26分	約21分
	Hi-SP	ATRAC3plus/256kbps	約7時間55分	約2時間20分	約2時間10分	約1時間45分
	Hi-LP	ATRAC3plus/64kbps	約34時間	約10時間10分	約9時間25分	約7時間40分
MDモード	SP	ATRAC/292kbps	MDモードでは録音できません。	約80分	約74分	約60分
	LP2	ATRAC3/132kbps		約2時間40分	約2時間28分	約2時間
	LP4	ATRAC3/66kbps		約5時間20分	約4時間56分	約4時間
	MONO			約2時間40分	約2時間28分	約2時間

トラック数/グループ数/入力文字数

動作モード	ディスクの種類	最大トラック数	最大グループ数	最大入力文字数
Hi-MDモード	Hi-MD規格専用 1GB	2047	255	約55,000文字
	80分	2047	255	約55,000文字
MDモード	80分	254	99	約1,700文字

MDのシステム上の制約について

MD(ミニディスク)システムは、従来のカセットやDATとは異なる方式で録音が行われます。そのため、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

- **最大録音可能時間に達していなくても、「Disc Full」が表示される。**

MDシステムでは、時間に関係なく、曲数がいっぱいになると「Disc Full」の表示が出ます。
さらに曲を追加するには、不要な曲を消すか、2枚のMDに分けて録音してください。

- **曲数にも録音時間にも余裕があるのに、「Disc Full」が表示される。**
  曲中にエンファシス情報などの入切が多く行われると、曲の区切りと同じ扱いになり、時間や曲数に関係なく「Disc Full」の表示が出ます。

- **MDへの録音のしかたによっては、短い曲を何曲消してもMDの残り時間が増えない。**

- **曲をつなぐことができない場合がある。**
  編集を行ってできた曲は、つなぐことができない場合があります。

- **MDの状態や録音のしかたによっては、録音可能な残り時間が録音した時間以上に減ることがある。**

- **編集でできた曲でサーチを行うと、音が途切れることがある。**

- **曲番が正確につかないことがある。**
  CDを録音するとき、CDの録音内容によって、短い曲ができる場合があります。また、レベルシンクオンで自動的にトラックマーキングを行った場合、録音するものの内容によっては、曲番が正確につかない場合があります。

- **「Reading」の表示がなかなか消えない。**
  一度も使用していない録音用ディスクを入れると、通常より「Reading」表示が長く表示されます。

- **最大入力文字数に達していないのに、文字入力ができない。**
  グループ機能を使用したり、カタカナを入力すると入力可能文字数はこれより少なくなります。

- **グループ機能の情報は、通常ネームを書きこむエリアに書きこみます。**
  そのため、文字を多く入れると情報を書きこむエリアが少なくなり、グループ編集ができない場合があります。その際は、ネームの文字数を減らすとグループ編集ができることがあります。

Hi-MDとMDLPについて
Hi-LP、Hi-SP、PCM、LP2、LP4の各モードで録音したディスクは、Hi-LP、Hi-SP、PCM、LP2、LP4モード搭載の機器以外では再生できません。

メッセージ一覧

ご使用の状況により、メッセージが表示されます。
意味は下の表のとおりです。

メッセージ	意味
Audio Error	パソコン用音声信号が入っているディスク。他のディスクを使用するか、フォーマットしてください。
Blank Disc	曲もディスク名も記録されていない録音用MDが入っている。
Cannot Copy	MDの制限により、デジタル録音できない状態になっている(「シリアルコピーマネージメントシステム」、53ページ参照)。
Cannot Edit	編集できないMDで編集しようとした。
Cannot Rec	再生専用MDに録音しようとした。 デジタルで録音したCD-Rをデジタル録音しようとした。
CD Dub Fail	CDダビングを起動できなかった。
Complete	編集が完了した。
Cannot Read	異常な(損傷している、TOCが入っていない)MDが入っている。
Disc Full	MDの録音可能部分がないため、録音できない(「MDのシステム上の制約について」、左項参照)。
D. In Unlock	デジタル入力に接続されていない。デジタル接続を確認してください。
Error	カナネーム入力時に入力できない組み合わせを行った。例:ア゛
Full	ネーム入力中に文字数が最大値に達した。
Impossible	MDシステム制約上以外の原因で編集の不可能な操作をした。
Writing	MDへの書き込み中
Mecha Error	MDメカに異常が発生した。故障の可能性がありますので、お近くのオンキヨー修理窓口にお問い合わせください。
Memory Full	25曲を越えてメモリーしようとした。
Name Full	入っている曲名とディスク名が最大値に達した。
No Change	ネーム入力で変更がなかった。
No Disc	ディスクが入っていない。
Protected	MDが記録不可状態になっている。
Read Error	ディスクを正しく読めなかった。ディスクを入れ直してください。
Retry Error	録音中、振動やMDに傷がいくつもあったため、記録し直しが連続し正常に記録できない。ディスクを交換してください。
Recording	録音中にできない操作をした。
Signal Wait	MDがシグナルウエイト状態になった。
TOC Error	TOC情報がおかしいため、MDの読み取りや書き込みに失敗した。他のディスクを入れてください。

困ったときは

まず下記の内容を確認してみてください。接続した他機に原因がある場合もありますので、他機の取扱説明書も参照しながらあわせてご確認ください。

電　源

電源が入らない

- 電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。〔16ページ〕

ディスクの再生

操作を受けつけない

- ディスクが汚れている、または損傷している。(「Read Error」表示が出る。)新しいディスクと取り替えてください。

再生できない

- 結露(内部に水滴が付着)している。 ディスクを取り出して、そのまま数時間置いてください。
- ディスクを逆向きに差し込もうとしている。ディスクの矢印の向きに合わせて差し込んでください。
- 何も録音されていないディスクが入っている。(「Blank Disc」表示が出る。)録音されているディスクと取り替えてください。

本機で録音したディスクがポータブルMDやカーステレオのMDプレーヤーで再生できない

- Hi-MDモードやMDLPモードで録音されている。　お手持ちのポータブルＭＤや車載ＭＤプレーヤーがHi-ＭＤやMDLPに対応していないと再生できません。本機の動作を「MDモード」、録音モードを「SP」で録音してください。〔24ページ〕

録音/編集

録音できない

- ディスクが誤消去防止状態になっている。(「Protected」表示が出る。) ディスクの誤消去防止ツマミをもどして孔を閉じます。
- 音源と正しく接続されていない。接続し直してください。
- 本機の入力設定が間違っている。INPUTボタンで録音する入力信号と同じ入力を選んでください。〔28､30ページ〕
- 録音レベルが小さすぎる。 録音レベルを調節します。（28ページ参照）
- 再生専用ディスクが入っている。(「Cannot Rec」表示が出る。) 録音用ディスクと取り替えます。
- ディスクの残り時間がない。残り時間が充分ある録音用ディスクと取り替えます。または、不要な曲を消してください。
- オーディオ用光デジタルケーブルが接続されていない。(「D. In unlock」表示が出る。)オーディオ用光デジタルケーブルを正しく接続してください。またはアナログ入力にしてください。〔15､28ページ〕

「Disc Full」と表示される

- MDに録音の空きがありません、新しいMDと交換してください。

「Retry Error」と表示された

- いったんMDを取り出して、再度録音しなおしてください。頻繁に表示される場合は、修理窓口にご連絡ください。

録音が自動的に停止する

- 録音オートストップ機能が働いている。録音オートストップ機能を解除することができます。〔33ページ〕

録音すると必ずグループができる

- グループ録音の設定が「オン」になっています。「グループ録音」の設定を「オフ」にしてください。〔27ページ〕

録音時、瞬間的にノイズが発生する

- MDモードのLP4モード録音では、圧縮方式の特性上、録音元の音源によってごくまれに瞬間的なノイズが発生します。SPモードまたはLP2モードでの録音をお試しください。

ディスクに記載の録音時間と既に録音時間・残録音時間が一致しない

- ディスクの録音箇所には一定の範囲（時間）単位での録音がされるために、くり返しの編集や削除などにより、録音時間が減少する場合があります。

MDの読み込み（Reading（リーディング））が遅い

- 本機はHi-MD、MD対応のため、読み込みに最大で60秒程度かかります。

名前がつけられない

- メモリー、ランダム、1GR再生モードになっていると名前はつけられません。通常の再生モードに戻してください。〔20、21、38ページ〕

すでに何曲か録音してあるMDなのに録音を開始すると1Trからになる

- グループ録音設定がオンになっていると、録音開始時に新しいグループを作成して録音するため、1Trと表示されます。

グループ録音設定をオンにしているのにグループにならない

- トラック指定CDダビングのときはグループになりません。また、シンクロ録音のときは、MDの■（ストップ）ボタンを押すとそこでグループが終わります。

たくさんの曲数に分割して録音されてしまう

- ラジオ、レコード等から録音する場合、無音部分を検出して曲数がたくさん付く場合があります。録音レベルを上げても改善しない場合はレベルシンク機能をOFFにしてください。

曲番が付かない

- 無音部分が短いと曲番がつかない場合があります。

本機で録音したMDが本機以外のプレーヤーで再生できない

- LP2やLP4（MDLPモード）を使って録音したMDはMDLP対応機器でないと再生できません。お持ちの機器がMDLP対応か確認してください。初期化するときにHi-MDフォーマットをしたMDはHi-MD対応機器でないと再生できません。お持ちの機器がHi-MD対応か確認してください。

今お持ちのMDをHi-MDモードにしたい

- Hi-MDモードに初期化します。既に録音されている曲はすべて削除されます。〔52ページ〕

ディスクの再生・編集ができない

- 本機以外で録音したディスクは、本機で再生や編集ができないことがあります。

MDの編集ができない

- MDは録音用を使用し、録音不可状態は誤消去防止つまみをずらして解除してください。〔53ページ〕
- メモリー、ランダム、1GR再生モードになっていると編集できません。通常の再生モードに戻してください。〔20、21、38ページ〕
- デジタル録音した曲とアナログ録音した曲はCombine(つなぐ）ことはできません。〔42ページ〕
- また、異なる録音モードで録音した曲はCombine（つなぐ）ことはできません。(LP2とLP4など）〔42ページ〕

録音後、停電になった

TOC表示が点灯、点滅中に停電になった場合は、停電前の記録内容は消去されます。また誤って電源コードを抜いた場合も消去されます。

AM放送録音時に規則的な雑音が入る

- AM室内アンテナを本機のすぐそばに置いている。 本機からAM室内アンテナを離してください。

ネーム入力

ネーム入力ができない

- ディスクが誤消去防止状態になっている。(「Protected」表示が出る。)ディスクの誤消去防止ツマミをもどして孔を閉じます。
- 再生専用ディスクが入っている。(「Cannot Rec」表示が出る。) 録音用ディスクと取り替えます。

システム動作

システム動作しない

- 接続が不完全である。各コードの接続を確認してください。また、RI端子の接続だけではシステムとして働きません。各機器のオーディオ用ピンコードも正しく接続してください。
- 上のどの処置でも正常に動作しない場合は、電源プラグをはずし、再度電源プラグを入れ直してください。

リモコン

本体のボタンは働くが、リモコンのボタンが働かない

- 電池を2本とも新しいものと交換してみてください。〔13ページ〕
- リモコンと本体の間が離れすぎていませんか？リモコンと本体の間に障害物がありませんか？〔13ページ〕
- 本体のリモコン受光部に強い光（インバータ蛍光灯や直射日光）が当たっていませんか？〔13ページ〕
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていたり、装飾フィルムを貼っていると、正常に機能しないことがあります。〔13ページ〕
- INTEC205シリーズのアンプやAVセンターに付属のリモコンを使用する場合、RIケーブル、オーディオ用ピンコードを正しく接続してください。〔14ページ〕

A-905FX（アンプ）と組み合わせる場合

音が出ない/システム機能が働かない/リモコンが働かない

- A-905FXのMAIN IN（メイン イン）機能が働いていないか確認してください。詳しくはA-905FXの取扱説明書をご覧ください。

その他

ディスクが熱くなる

- 外気温や動作状態にもよりますが、本機によってディスクが熱くなることがありますが、故障ではありません。

● 本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音や妨害ノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。そのようなときは、電源プラグを抜いて、約10秒以上放置してから電源プラグを接続してください。

● 製品の故障により正常に録音できなかったことによって生じた損害（CDレンタル料等）については保証対象になりません。大事な録音をするときは、あらかじめ正しく録音できることを確認の上、録音を行ってください。

主な仕様

録音可能サンプリング周波数	32kHz/44.1kHz/48kHz
再生サンプリング周波数	44.1kHz
録音・再生時間	最長34時間08分（Hi-MDディスク使用、Hi-LPモード使用時）
全高調波歪率	0.005%（1kHz）
周波数特性	10Hz～20kHz/±0.5dB
ダイナミックレンジ	94dB
SN比	100dB
出力電圧/インピーダンス	2.0V（rms）/440Ω（アナログ出力）
電源・電圧	AC100V, 50/60Hz
消費電力	13W
待機電力	0.1W
最大外形寸法	205（幅）×76（高さ）×282（奥行き）mm
質量	2.4kg
許容動作温度/湿度	5℃～35℃/5%～85%

仕様および外観は、性能向上のため予告なく変更することがあります。

修理について

■保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のお近くのオンキヨー修理窓口までお知らせください。

- ▶ お 名 前
- ▶ お 電 話 番 号
- ▶ ご 住 所
- ▶ 製 品 名　MD-105FX
- ▶ で き る だ け 詳 し い 故 障 状 況

■オンキヨー修理窓口について

詳細は付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

■保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。

MD-105FX(53-60)(SN29343986A)　59　05.4.7, 10:14 AM
ブラック